

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-5

< 第44週 >

水痘の定点当たり報告数は3週連続で増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い / その他最新動向



注目すべき感染症
P.6-8

< 細菌性赤痢 >

第44週の累積報告数は264例で、原因菌の菌種内訳では、*S. sonnei* が207例で最も多い



病原体情報
P.9-11

インフルエンザウイルス 2011/12シーズン



速報
P.12

2011/12シーズン初めに分離されたB型インフルエンザウイルス(山形系統) - 堺市



海外感染症情報
P.13-16

鳥インフルエンザ - インドネシアにおける状況 / 鳥インフルエンザ - エジプトにおける状況 / インフルエンザ



感染症の話
P.17

< 今週はお休みです >



読者のコーナー
< 今週は該当記事はありません >



グラフ総覧(44週)
P.18-23



44週のデータ
P.24-36



発生動向総覧

< 第44週コメント > 11月9日集計分

全数報告の感染症

注意: これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては一部を除いて発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。

感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを示します。

1類感染症

報告なし

2類感染症

結核350例

3類感染症

細菌性赤痢3例 菌種: *S. sonnei* (D群) 3例__感染地域: 愛知県1例、中国1例、インド1例

腸管出血性大腸菌感染症49例(有症者22例、うちHUSなし)

感染地域: 国内48例、ドイツ1例

国内の感染地域: 千葉県21例*、鹿児島県6例**、熊本県3例、北海道2例、神奈川県2例、大阪府2例、宮崎県2例、宮城県1例、長野県1例、愛知県1例、三重県1例、愛媛県1例、大分県1例、不明4例

* 保育園に関連した集団感染例を含む(O145 VT1)

** 保育園に関連した集団感染例を含む(O26 VT1)

年齢群: 1歳(1例)、2歳(6例)、4歳(5例)、5歳(6例)、6歳(8例)、7歳(1例)、9歳(1例)、10代(3例)、20代(2例)、30代(5例)、40代(1例)、50代(6例)、60代(2例)、70代(1例)、80代(1例)

血清型・毒素型: O145 VT1(20例)、O157 VT1・VT2(9例)、O26 VT1(8例)、O157 VT1(2例)、O157 VT2(2例)、O157 VT不明(2例)、O26 VT1・VT2(1例)、O103 VT1(1例)、O111 VT1・VT2(1例)、O145 VT2(1例)、O165 VT2(1例)、その他・不明(1例)

累積報告数: 3,555例(有症者2,437例、うちHUS 91例、死亡14例)

腸チフス1例 感染地域: 国内(都道府県不明)

4類感染症

A型肝炎1例 感染地域: 福岡県

チクングニア熱1例 感染地域: インド

つつが虫病13例 感染地域: 神奈川県6例、広島県2例、福島県1例、岐阜県1例、静岡県1例、佐賀県1例、長崎県1例

日本紅斑熱12例 感染地域: 高知県8例、広島県2例、和歌山県1例、島根県1例

レジオネラ症13例(肺炎型12例、ポンティアック型1例、うち死亡1例)

感染地域: 香川県2例、栃木県1例、埼玉県1例、福井県1例、静岡県1例、広島県1例、長崎県1例、国内(都道府県不明)4例、トルコ1例

年齢群: 50代(6例)、60代(2例)、70代(2例)、80代(2例)、90代以上(1例)

レプトスピラ症1例 感染地域: 宮崎県__感染源: 不明

5類感染症

アメーバ赤痢11例(腸管アメーバ症9例、腸管外アメーバ症1例、腸管及び腸管外アメーバ症1例)

感染地域: 栃木県2例、神奈川県2例、北海道1例、愛知県1例、兵庫県1例、香川県1例、国内(都道府県不明)3例

感染経路: 性的接触7例(異性間3例、同性間2例、異性間・同性間不明2例)、経口感染1例、不明3例

ウイルス性肝炎3例 B型3例__感染経路: 性的接触2例(異性間2例)、不明1例

急性脳炎2例 病原体不明2例__年齢群: 3歳(1例)、30代(1例)

クロイツフェルト・ヤコブ病1例

孤発性プリオン病古典型

劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例

年齢群: 5歳

後天性免疫不全症候群9例(AIDS 2例、無症候7例)

感染地域: 国内9例

感染経路: 性的接触6例(同性間5例、異性/同性間1例)、性的接触(同性間)静注薬物使用1例、その他・不明2例

ジアルジア症1例 感染地域: プルキナファソ

梅毒10例(早期顕症I期1例、早期顕症II期7例、無症候2例)

風しん4例(検査診断例3例、臨床診断例1例)

感染地域: 茨城県1例、大阪府1例、国内(都道府県不明)1例、タイ1例

年齢群: 10～14歳(1例)、15～19歳(1例)、30～34歳(1例)、40代(1例)

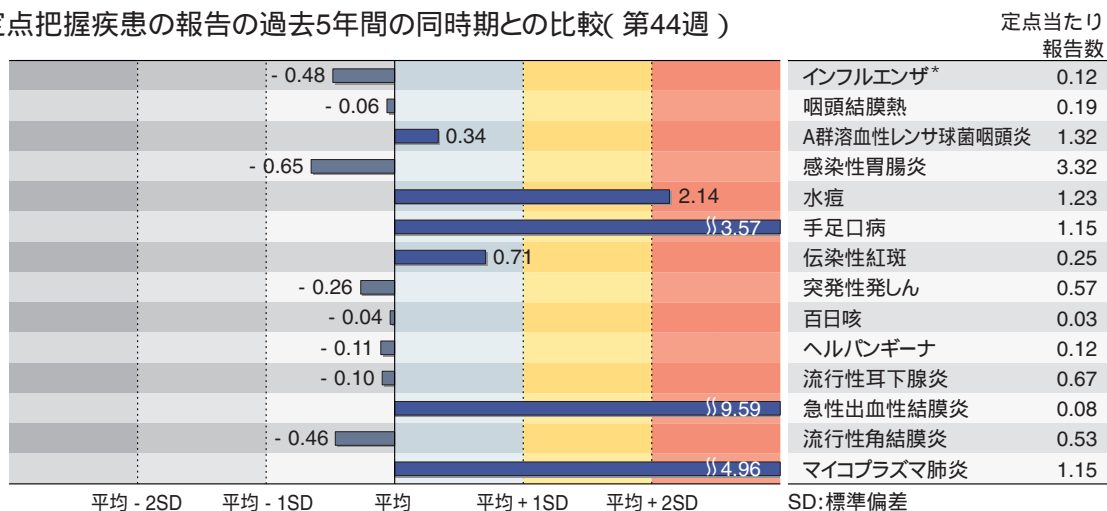
累積報告数: 337例(検査診断例262例、臨床診断例75例)

(補) 2011年第43週までに診断されたものの報告遅れとして、細菌性赤痢1例〔菌種: *S. flexneri* (B群)__感染地域: インドネシア〕、E型肝炎1例(感染地域: 北海道__感染源: 不明)、日本紅斑熱2例(感染地域: 和歌山県1例、岡山県1例)、レプトスピラ症6例(感染地域: 高知県3例__感染源: 泥水3例、感染地域: 沖縄県2例__感染源: その他・不明2例、ラオス1例__感染源: 川)、急性脳炎3例〔マイコプラズマ1例__10代、病原体不明2例__2歳(1例)、80代(1例・死亡)〕、劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例〔70代(1例)、80代(1例・死亡)〕、髄膜炎菌性髄膜炎1例(3歳、感染地域: 三重県)、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例(遺伝子型: 不明__菌検出検体: 肝膿瘍)などの報告があった。

定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

定点把握疾患の報告の過去5年間の同時期との比較(第44週)



当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)との差をグラフ上に表現した。(*2009年のパンデミックの影響を受けています。)

インフルエンザ

定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別では沖縄県(1.64)、鳥取県(0.93)、愛知県(0.59)、宮城県(0.49)が多い。

小児科定点報告疾患

RSウイルス感染症の報告数は1,945例と3週連続で増加した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約73%を占めている。

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別では新潟県(0.85)、北海道(0.74)、福岡県(0.39)が多い。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別では大分県(2.75)、北海道(2.63)、石川県(2.21)が多い。

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別では山口県(9.5)、宮崎県(6.8)、愛媛県(6.4)、香川県(6.2)が多い。

水痘の定点当たり報告数は3週連続で増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別では福井県(2.86)、青森県(2.36)、秋田県(2.36)、佐賀県(2.35)が多い。

手足口病の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では鳥取県(3.68)、鹿児島県(3.09)、宮城県(2.95)、福島県(2.75)が多い。

伝染性紅斑の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別では高知県(0.97)、愛媛県(0.95)、徳島県(0.83)が多い。

百日咳の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では栃木県(0.21)、沖縄県(0.18)、高知県(0.17)が多い。

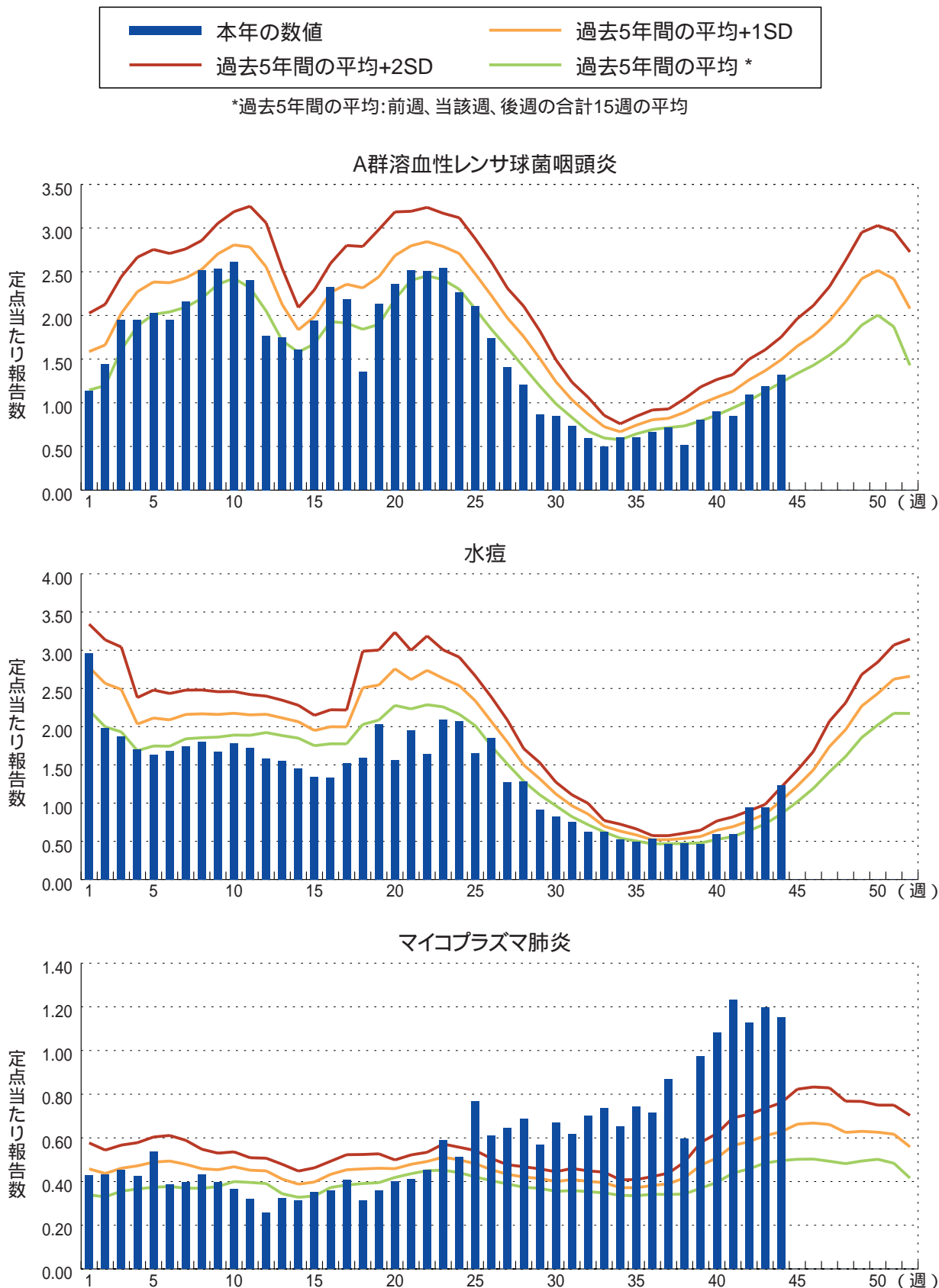
ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第36週以降減少が続いている。都道府県別では徳島県(1.04)、山形県(0.50)、愛媛県(0.43)が多い。

流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では山形県(2.83)、新潟県(2.00)、宮崎県(1.89)が多い。

基幹定点報告疾患

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では埼玉県(2.89)、愛知県(2.77)、沖縄県(2.71)、岩手県(2.42)が多い。

図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較(2011年第44週)
 青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。





注目すべき感染症

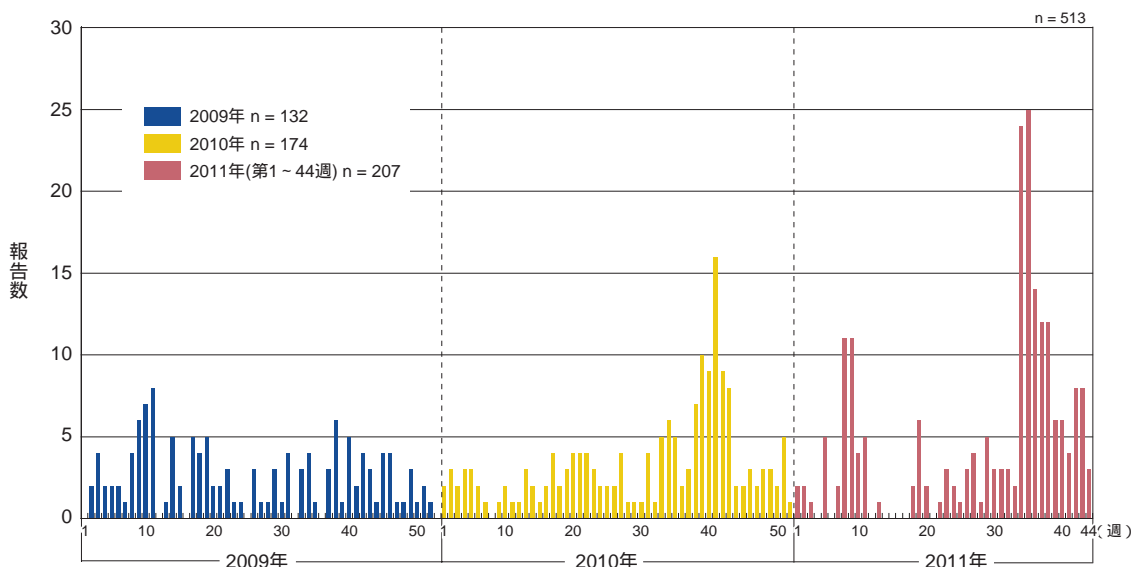
細菌性赤痢 (2011年11月9日現在)

赤痢菌(*Shigella*)は主にヒトの腸管に存在し、患者や無症状病原体保有者の糞便、それらに汚染された手指、食品、水、物などを介して、直接あるいは間接的に伝播する。赤痢菌の排泄は疾患(細菌性赤痢)の急性期に最大となる。赤痢菌は環境中では生存しにくい、食材の中で生存でき、また10～100個というわずかな菌量でも感染が成立するため、食中毒の重要な原因菌の一つである。一方で、糞口感染によって最も効率よく伝播し、保育園や知的障害者施設等の福祉施設などで接触感染として流行しやすく、さらに家庭内での二次感染率も高く40%に達する場合もある。また、性行為によっても伝播する可能性があり、海外では同性間性的接触による細菌性赤痢の集団発生について、既に1970年代頃から報告がある。症状の程度は菌種(*S. dysenteriae*, *S. flexneri*, *S. boydii*, *S. sonnei*)にもある程度依存する[*S. dysenteriae* や *S. flexneri* は膿粘血便やしぶり腹等の典型的な症状を起こすことが多く、*S. sonnei* の場合は軽微な下痢や無症状で経過することが多い(<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kanja/idwr/idwr2011/idwr2011-33.pdf>)]が、宿主の年齢や免疫状態、栄養状態によるところが大きい^{1, 2)}。

2011年の細菌性赤痢は、診断第1～44週の累積報告数が264例で、患者250例、無症状病原体保有者14例であった(無症状病原体保有者は、探知された患者と食事や渡航を共にした者や、患者と接触した者に対する保健所の調査などによって発見される)。原因菌の菌種内訳は、*S. sonnei* が207例で最も多く、次いで *S. flexneri* 45例、*S. boydii* 9例、菌種不明3例で、感染地域別では、国外120例、国内142例、不明2例であった。

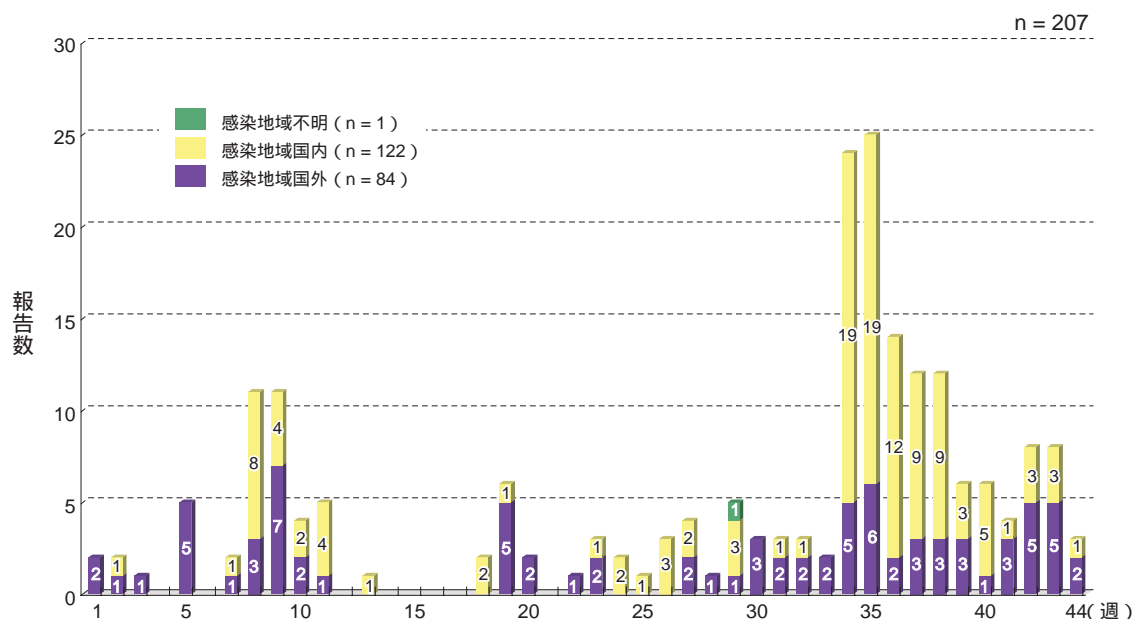
これらのうち、*S. sonnei* 感染例について、2009～2011年第44週の週別報告数をみると、2011年は過去2年と比較して最も多く推移している(図1)。2011年の発生状況についてはこれまでも掲

図1. 細菌性赤痢(*S. sonnei*) 週別発生状況(2009～2011年第44週)



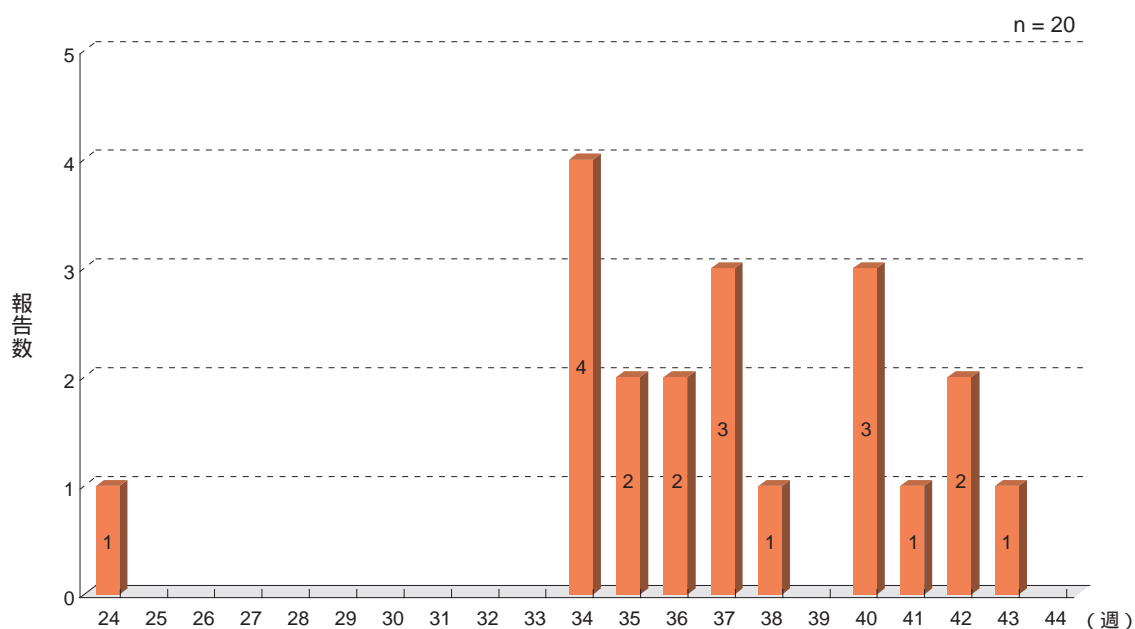
載したように(<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kanja/idwr/idwr2011/idwr2011-34.pdf>、<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kanja/idwr/idwr2011/idwr2011-35.pdf>、<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kanja/idwr/idwr2011/idwr2011-38.pdf>) 第34 ~ 39週に複数の自治体から国内感染例が計71例報告され、これらのうち40例は疫学調査および菌株の分子疫学解析(MLVA法)により、国内の同系列外食チェーン店舗に関連した食中毒事例等であることがわかっている。しかし、この事例の終息後も、国内感染例が複数の自治体から報告されており(図2)、さらに、自治体から提供された範囲での菌株について国立感染症研究所細菌第一部でMLVA法による解析を行った結果、同一の *S. sonnei* によると推定されるクラスターの存在が確認された。

図2. 細菌性赤痢 *S. sonnei* 感染例の週別・感染地域別発生状況(2011年第1 ~ 44週)



クラスターは、第44週現在までに6自治体からの計20例の報告例で構成されている(図3)。1例目は第24週に報告され、その後第34週以降の報告例が大半を占めているが、これは上述の食中毒事例の影響によって、より積極的に患者調査や菌株収集が行われたことによる可能性もある。20例は男性19例、女性1例で、年齢中央値は33.5歳(範囲16 ~ 49歳)であった。感染経路としては、20例中11例で飲食物の経口感染が推定されており、他の9例は感染経路不明であった。

図3. クラスターの週別発生状況(2011年第24 ~ 44週)



細菌性赤痢は食中毒の重要な原因であり、国内感染例については、飲食店における集団感染事例や、輸入食材を原因とした広域集団感染事例なども複数報告されてきた。一方で、最も感染効率がよいとされる糞口感染による感染経路の確認も、感染予防のうえでは重要となる。細菌性赤痢の症例が報告された場合には、可能性のある全ての感染経路について確認し、適切な治療・予防につなげることが重要である。また、広域集団発生は、個々の自治体では散発例として報告される可能性があるため、疫学調査の際には菌の分子疫学的解析が必要であり、そのための菌株収集も積極的に考慮していただきたい。

参考文献

- 1) Control of Communicable Diseases Manual 19 Ed(2008). Shigellosis. p556-60. Amer Public Health Assn, Washington, D.C.
- 2) Harrison's Principles of Internal Medicine, 18th Ed(2011). Shigellosis. P1281-85. McGraw-Hill Professional, USA



病原体情報

* グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.gov/iasr/index-j.html>)からの引用です。

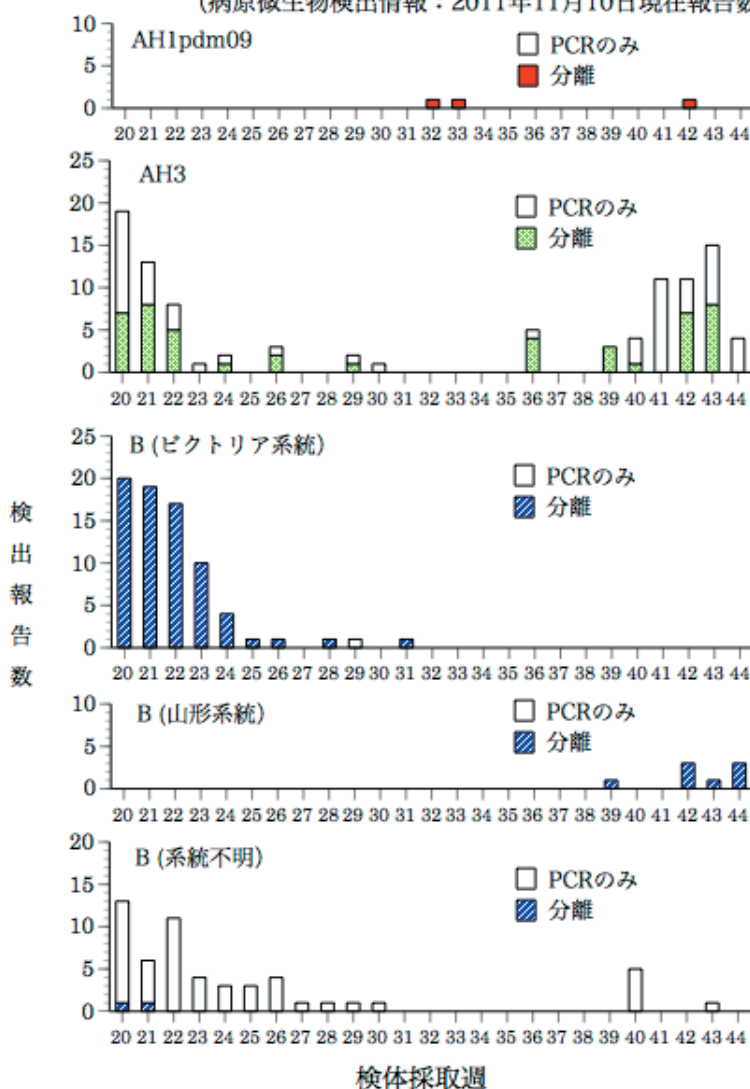
国立感染症研究所・感染症情報センターには各都道府県市の地方衛生研究所(地研)から「病原体個票」と「集団発生病原体票」が報告されています。これには感染症発生動向調査の定点およびその他の医療機関、保健所等で採取された検体から検出された病原体の情報が含まれています。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

(2011年11月10日現在報告分)

インフルエンザウイルス 2011/12シーズン

2011/12シーズン最初の第36週と第39～44週にAH3亜型、第39週と第42～44週にB型山形系統株、第40週と第43週にB型系統不明株、第42週にAH1pdm09が報告されている。

週別インフルエンザウイルス分離・検出報告数、2011年第20週～第44週
(病原微生物検出情報: 2011年11月10日現在報告数)



(データは現在週および過去の週に遡って追加が見込まれる)

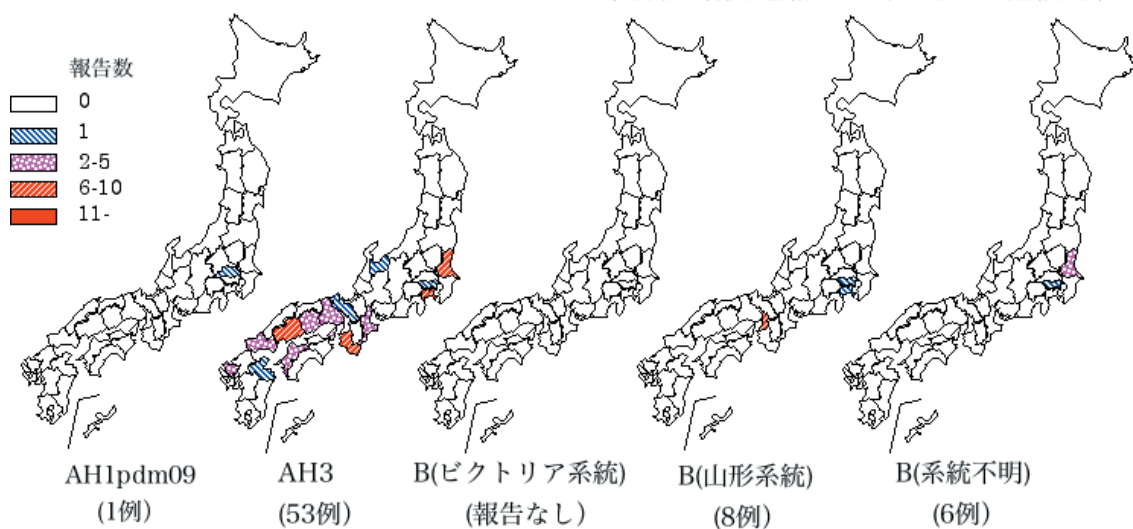
各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



Infectious Agents Surveillance Report

2011年第36～44週の累積では、AH1pdm09が埼玉県から1件、AH3亜型が14都府県から53件、B型山形系統株が3都府県から8件、B型系統不明株が2都府県から6件報告されている。

都道府県別インフルエンザウイルス分離・検出報告状況、2011年第36週～第44週
(病原微生物検出情報：2011年11月10日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した

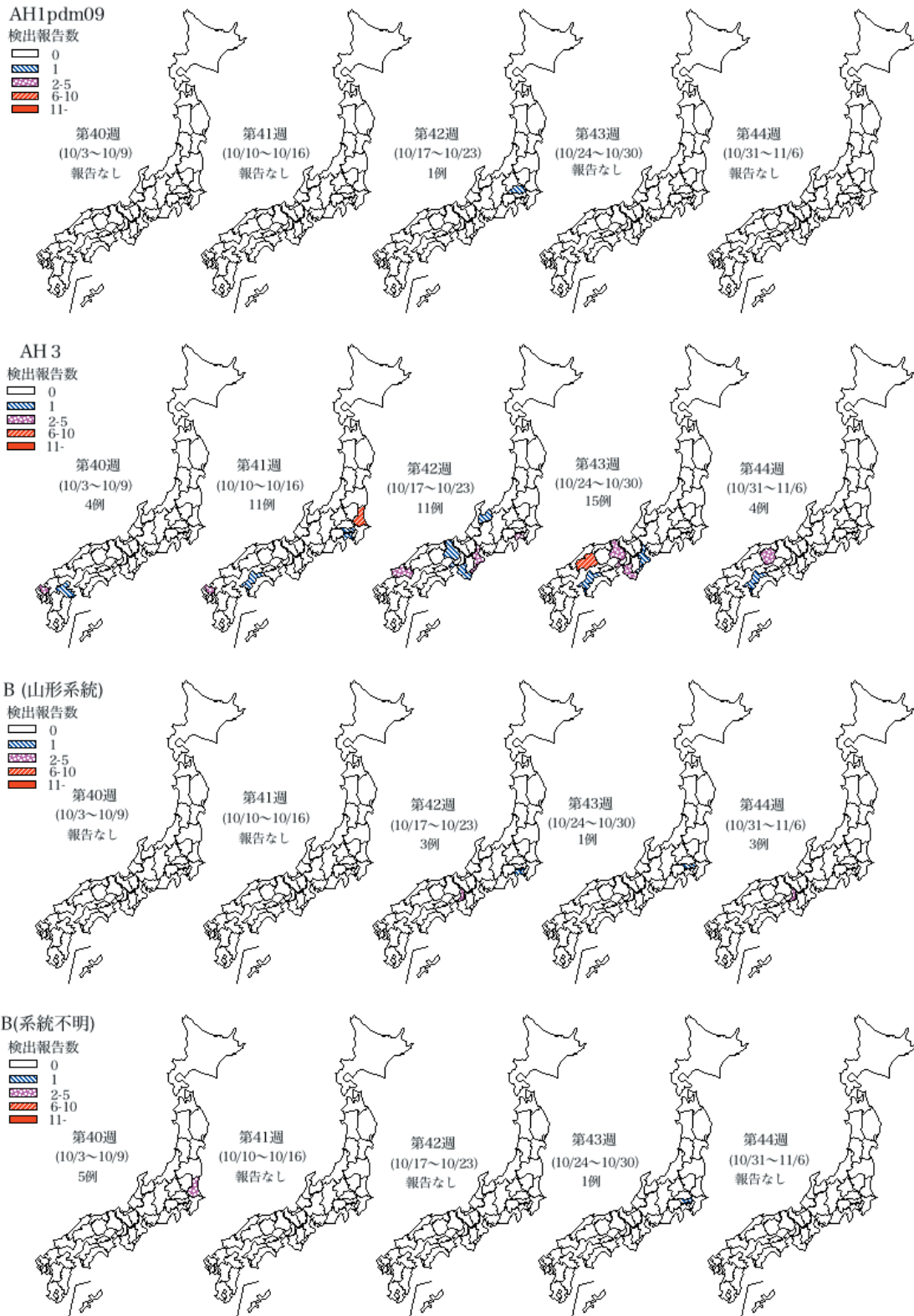


直近の2011年第40～44週の5週間ではAH1pdm09が第42週に埼玉県から1件、AH3亜型が13都府県から45件(茨城県、和歌山県、広島県各6件、佐賀県5件、神奈川県、三重県各4件、兵庫県、岡山県、愛媛県各3件、山口県2件、東京都、富山県、大分県各1件) B型は山形系統株が3都府県から7件[大阪府5件(本号12ページ「速報」参照)、東京都、神奈川県各1件] 系統不明株が2都府県から6件(茨城県5件、東京都1件)報告されている。

このうち、輸入例からの分離が1件(タイ・AH3亜型)報告されている。

インフルエンザウイルス分離・検出速報は <http://idsc.nih.go.jp/iasr/influ.html> を参照ください。

週別都道府県別インフルエンザウイルス分離・検出報告状況、2011年第40週～第44週
(病原微生物検出情報：2011年11月10日現在報告数)



*各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を検体採取週別に図に示した



2011/12シーズン初めに分離されたB型インフルエンザウイルス(山形系統) - 堺市

堺市インフルエンザ定点医療機関において、2011年9月30日に採取された検体からインフルエンザウイルスが分離された。当市において、2011/12シーズンでは初めての分離例となり、インフルエンザウイルスB型山形系統株であった。

9月30日(第39週)に堺市東区インフルエンザ定点医療機関において、39歳の発熱、風邪様症状を訴えた15歳女子高校生から採取された鼻汁と咽頭ぬぐい液の混合検体から、リアルタイムRT-PCR法にてB型ウイルス遺伝子が検出された。ウイルス分離はMDCK細胞を用い、検体接種3日目からCPEが観察された。0.75%ヒトO型赤血球を用いた赤血球凝集(HA)試験では128倍を示した。赤血球凝集抑制(HI)試験による型別同定は、国立感染症研究所より配布された2010/11シーズン用インフルエンザウイルス同定キットを用いた。分離株は抗B/Bangladesh/3333/2007血清(ホモ価2,560)に対しHI価320、抗B/Brisbane/60/2008血清(ホモ価5,120)に対してHI価10を示し、分離株は山形系統のB型と判定された。

また、西区インフルエンザ定点医療機関から10月17日(第42週)に採取された1歳5カ月女児の鼻汁と咽頭ぬぐい液の混合検体、さらに20日(第42週)に採取された7歳10カ月男児の鼻汁から、同様にインフルエンザウイルス分離がなされ、2011/12シーズン用に同研究所より送付されたキットによるHI試験の結果、分離された2株は同じ値を示し、抗B/Bangladesh/3333/2007血清(ホモ価2,560)に対しHI価640、抗A/California/07/2009血清(ホモ価640)、抗A/Victoria/210/2009血清(ホモ価1,280)、抗B/Brisbane/60/2008血清(ホモ価2,560)に対してはいずれもHI価<10であり、山形系統のB型と判定された。

第39週と第42週にインフルエンザB型山形系統株が相次いで分離され、堺市感染症情報センターから医師会へ情報提供がなされた。2010/11シーズンのB型検出状況ではVictoria系統が優勢であったが、今シーズンは山形系統が立ち上がりみせた。今後のインフルエンザウイルス流行状況に注意が必要である。

堺市衛生研究所

内野清子 三好龍也 西口智子 岡山文香 吉田永祥 田中智之

堺市感染症情報センター

沼田富三

(IASR 2011年12月号掲載予定記事)



海外感染症情報

*WHOのEPR(Epidemic and Pandemic Alert and Response)による、感染症アウトブレイクニュース等を掲載しています。

鳥インフルエンザ - インドネシアにおける状況

2011年10月26日 - 更新7

インドネシア保健省は、鳥インフルエンザウイルスA(H5N1)の新たな2例のヒト感染確定症例を報告した。

1例目はバリ州(Bali Province)のバングリ地区(Bangli district)の5歳の女児である。女児は9月27日に発症、地元の総合病院に10月5日入院し、10月9日に死亡した。

2例目は10歳の男児で、1例目の兄である。男児は9月30日に発症、妹と同じ病院に入院し、10月10日に死亡した。

保健省と地元保健所による疫学調査によると、子供たちの生活圏に家禽があり、家と近所で飼っている家禽は、子供たちが発症する前に死んでいた。

検査室診断により、鳥インフルエンザウイルスA(H5N1)による感染が確定した。

インドネシアではこれまでに181例が確定診断され、そのうち149例が死亡している。

鳥インフルエンザ - エジプトにおける状況

2011年11月2日 - 更新56

エジプト保健省は、鳥インフルエンザウイルスA(H5N1)の1例のヒト感染症例をWHOに報告した。

症例はガービア行政区(Gharbia Governorate)マハラ区(Mahala District)の1歳男児で、9月17日に発症し、9月21日に入院した。男児はオセルタミビルによる治療を受けた後回復し、9月25日に退院した。

感染源調査の結果、男児は近所で飼育されている家禽への曝露が確認された。

この症例は、WHOの世界インフルエンザサーベイランスネットワーク(Global Influenza Surveillance Network)の国家インフルエンザセンターであるエジプト中央公衆衛生研究所(Egyptian Central Public Health Laboratories)で確定診断された。

エジプトではこれまでに152例が確定診断され、そのうち52例が死亡している。

インフルエンザ

2011年11月4日 - 更新146

【要約】

- ・北半球の温帯地域諸国におけるインフルエンザの活動性は、低いか全く検出されていない状態が続いている。
- ・熱帯地域諸国では、アメリカ大陸(キューバ、ドミニカ共和国、ホンジュラス)、中央アフリカ(カメルーン)、南アジアと東南アジア(カンボジア、タイ、ラオス、ベトナム)から、低レベルの流行が報告されている。
- ・南アフリカ共和国と南アメリカでの流行は引き続き低い。

【北半球の温帯地域諸国】

北半球の温帯地域諸国は現在もインフルエンザの流行間期である。大多数の国はインフルエンザの活動性が低いか全くないと報告しているが、散発的なインフルエンザウイルスの検出がこ

の数週間に報告されている。

【熱帯地域諸国】

アメリカ大陸の熱帯地域では、全体的に低レベルのインフルエンザの流行が報告されている。カリブ海諸国では、ドミニカ共和国(インフルエンザウイルスB型)と、キューバ(インフルエンザウイルスA(H3N2))からそれぞれ異なったタイプのインフルエンザウイルスの低レベルでの流行が報告されている。これらの国はいずれも2～3カ月前に流行のピークを迎えた。中央アメリカでは、ホンジュラスとエルサルバドルが最近A(H3N2)のピークを迎えたが、ともに減少している。しかし、ニカラグアでは最近インフルエンザウイルスA(H1N1)pdm09の急激な上昇が見られ、9月中旬から下旬と10月中旬から下旬に計199例が確定されている。パナマでは8月がピークであったが、少数のA(H1N1)pdm09が6月下旬から継続して報告されている。その他の中央アメリカ諸国と南アメリカの熱帯地域諸国は、インフルエンザの流行は低いか検出できないレベルと報告している。

サハラ以南のアフリカでは全体的にインフルエンザの流行は低いレベルにとどまっているが、カメルーンではA(H1N1)pdm09とB型がこの数週間、ピーク時のレベルでともに流行している。

アジアの熱帯地域諸国では、1～2カ月前のピークの後、低レベルの流行が持続している。インド、バングラデシュとタイでのA(H3N2)のピークは7月下旬(インドとバングラデシュ)から9月上旬(タイとラオス)であったが、その後B型の2次的な増加が見られ、以来この地域では少数であるがB型の検出が続いている。広範な地域が洪水に見舞われたタイ中央部の避難所サーベイランスではインフルエンザ様疾患(influenza-like illness: ILI)の報告が多数を占めている。タイのインフルエンザサーベイランスの報告によると、最近では多くのA(H3N2)とB型の検出が報告されている。ベトナムでは他の南アジア諸国とは異なり、2011年初頭より続く、ごく少ないB型を伴うA(H1N1)pdm09の継続した流行を報告している。カンボジアではB型とA(H1N1)pdm09がほぼ同数の混合流行を報告している。

【南半球の温帯地域諸国】

・南アメリカ地域

南アメリカの温帯地域では、インフルエンザの流行は引き続き減少し、流行間期レベルに近づいている。チリでは少数のA(H3N2)とA(H1N1)pdm09が混合して循環していることが報告されているが、他の国々ではインフルエンザの流行は低いか全くない。

・南アフリカ地域

南アフリカ共和国でのインフルエンザ流行は、6月初めにピークを過ぎて以来低いレベルに止まっている。

・オーストラリア、ニュージーランド及び南太平洋諸国

オーストラリアとニュージーランドでのインフルエンザの活動性は引き続き減少し、流行期はほぼ終了しているようであるが、その時期や流行亜型には地域的な差が見られる。

ニュージーランドでは国内のILI受診率は患者10万対10.7(ILI受診者39例)まで減少し、ベースライン以下の水準が続いている。2011年にニュージーランドで1,269のインフルエンザウイルスが確認され、B型(594)、A(H1N1)pdm09(108)、A(H3N2)(430)そして亜型別されていないA型(137)であった。流行しているインフルエンザウイルス株は今年のインフルエンザワクチ

ンでカバーされている。

【査読された(信頼できる)文献から】

インフルエンザワクチンのEfficacy(効果)とEffectiveness(有効性): 系統的な調査とメタアナリシス
 ワクチンは世界各国において季節性およびパンデミックインフルエンザの予防と対策の鍵である。Osterholmらは、米国で承認されているインフルエンザワクチンの効果と有効性を評価するために、系統的な調査とメタアナリシスを行った。調査した5,707の論文のうち、1967年1月1日から2011年2月15日までに発表された31の論文を解析に含めた。すべてで、インフルエンザの確定のためにRT-PCRあるいはウイルス分離という正確な検査手法が用いられている。A(H1N1)pdm09による疾患と医学的に診断された65歳以下の人々に対する2009H1N1単価ワクチンの有効性の中央値は69%であった。季節性インフルエンザワクチンは確定インフルエンザに対して中等度の防御を示し、健康成人に対する不活化3価ワクチンの効果は59%で、8歳以下小児に対しての弱毒生ワクチンの効果は83%であった。しかしながら、時に防御効果は低いときもあり、特にいくつかのインフルエンザシーズンでは大幅に低かった。

調査は65歳以上の高齢者における防御効果については十分な証拠がないことを示した。インフルエンザに関連した罹患率と死亡率をさらに減少させるためには、臨床的な有効性と効果が改善された新しいインフルエンザワクチンが勧められる。現在のワクチンに対する公的支援もまた維持されるべきである。

コメント:

インフルエンザワクチンの有効性は地域で循環しているウイルス株とワクチンに含まれるウイルス株の類似度に依存し、シーズンによって変わりうる。インフルエンザウイルスは感染によって身体の一次的な防御として産生される抗体を避けるために表面の蛋白を変えつつ進化する。地域で循環しているウイルスとワクチンが一致、あるいは関連が近縁でなければ、そのシーズンのワクチンの効果は低下する。ワクチン株の選択に毎年多大な努力が注がれており、この正確性は各国政府によるサーベイランスデータのWHOのグローバルインフルエンザサーベイランス・レスポンスシステム(Global Influenza Surveillance and Response System)との広く開かれた共有によって、より強化される。また、インフルエンザワクチンは若い健康な成人よりも、インフルエンザによって重症化するリスクの高いヒトにおいての方が効果が低いことが以前から知られている。近年の弱毒生ワクチンの開発は、小児に対するワクチンの効果を高めたようである。ワクチンに対する身体の反応性を高めるアジュバントの使用や、高齢者に対する高容量のワクチンは、他のハイリスク者における効果を高めることが期待される。ハイリスク者における比較的低い反応性から、多くのワクチンプログラムは医療従事者や他の重症の合併症を起こしやすい人に濃厚に接触する人々にワクチンを勧めるようになった。より有効なワクチンが利用可能になるまでの間は、重症のインフルエンザ合併症を起こしやすい人、すなわち高齢者、慢性疾患を持つ人、妊産婦を介護したり、濃厚に接触する人たちは、これらの感受性のある人たちに感染させる機会を減らすためにもワクチンを接種することを真剣に考えるべきである。ハイリスク者自身における毎年のワクチン接種もまた、これらの人たちにおける重症化や死亡のリスクを低下させるもっとも効果的な方法である。

更なる研究によって、研究者は高齢者やハイリスク者におけるワクチンの利点をよく理解できるようになるであろう。しかしながら、これらのグループを対象とした無作為コントロール試験は倫理的な問題を提起する。代替案としての観察研究は医療へのアクセスの差や健康人とハイリ

スク者との間のワクチン接種率の違いなどのサンプリングバイアスにより結果が影響されるかもしれない。それ故に観察研究の結果は注意深く解釈される必要がある。2003年の世界保健総会では、インフルエンザワクチン接種政策のある国に対し、高齢者を含むハイリスク者におけるタイムリーな接種と接種率の向上を勧告している。

参考文献：

Osterholm., M.T. et al. 2011. Efficacy and effectiveness of influenza vaccines : a systematic review and meta-analysis. *The Lancet*; doi : 10.1016/S0140-6736(08)61345-8.

【ウイルス学的サマリー】

第41～42週(2011年10月9～22日)における検査で確定されたインフルエンザウイルスの検出は、アフリカ、アジアと中央アメリカのいくつかの国での局地的あるいは地域的なアウトブレイクを除いて、世界のほとんどで低いレベルにとどまっている。世界で循環しているウイルスの多くはA(H1N1)pdm09とA(H3N2)である。

北半球では、インフルエンザの活動性は総体的に低い。北アメリカとヨーロッパでは、A(H1N1)pdm09、A(H3N2)とB型が散発的に検出される状況が続いている。アジアでは、カンボジアでA(H1N1)pdm09とB型の地域的な流行が第29週より続いており、ネパールではA(H1N1)pdm09とA(H3N2)の活動性の増加が検出されている。

中央アメリカでは、ニカラグアがA(H1N1)pdm09とA(H3N2)の混合による活動性の増加を報告している。

南半球では、A(H1N1)pdm09、A(H3N2)とB型がアフリカ、オセアニアと南アフリカ共和国で低レベルで循環している。A(H1N1)pdm09とB型の局地的なアウトブレイクがカメルーンから継続して報告されている。

米国から2例のブタ由来のA(H3N2)亜型ウイルス感染の報告があった。暫定的な解析では、これらのウイルスはA(H1N1)pdm09からのM遺伝子を含むブタ由来のトリプルリアソータントであることがわかっており、このような遺伝子組成をもつ6番目と7番目のウイルスということになる。これまでのすべてのウイルスは米国で見つかっている。更なるウイルスの解析が、アトランタにある米国疾病対策センターのWHO協力センターで行われている。この間、パンデミックへの準備のため、WHOのグローバルインフルエンザサーベイランス・レスポンスシステムにおいて、ブタ由来トリプルリアソータントウイルスから2つのワクチン候補株を作成している。

【FluNetサマリー】

第41～42週(2011年10月9～22日)において、86の国と地域の国家インフルエンザセンター(National Influenza Centres : NICs)がFluNetに報告したインフルエンザ陽性検体1,448のうち、1,026(70.9%)がA型、422(29.1%)がB型で、亜型別されたA型のうち、53.5%がA(H1N1)pdm09、46.5%がA(H3N2)であった。



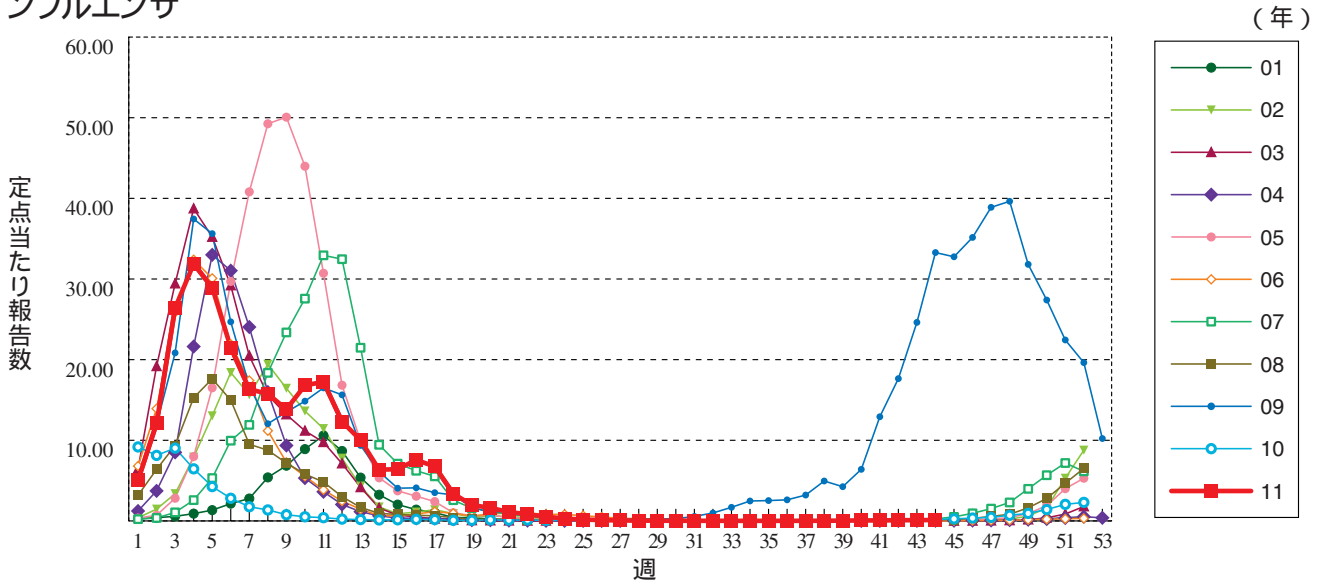
感染症の話

今週はお休みさせていただきます。
「感染症の話」過去の掲載分については
<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/index.html>
でご覧いただけます。

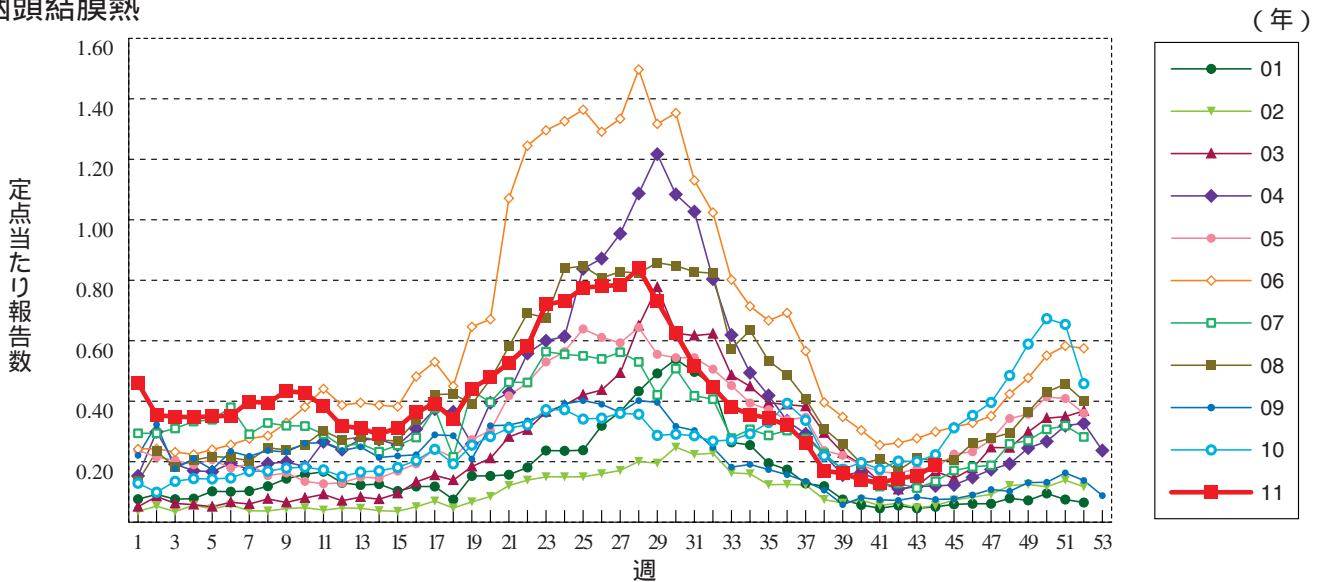


グラフ総覧(44週)

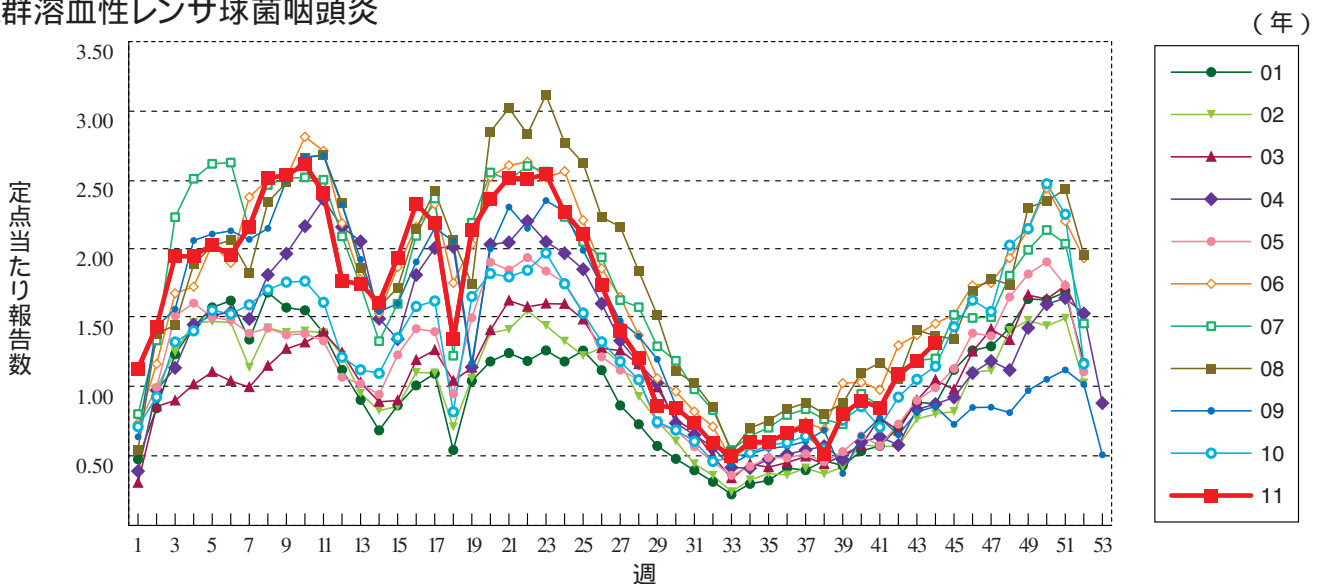
インフルエンザ



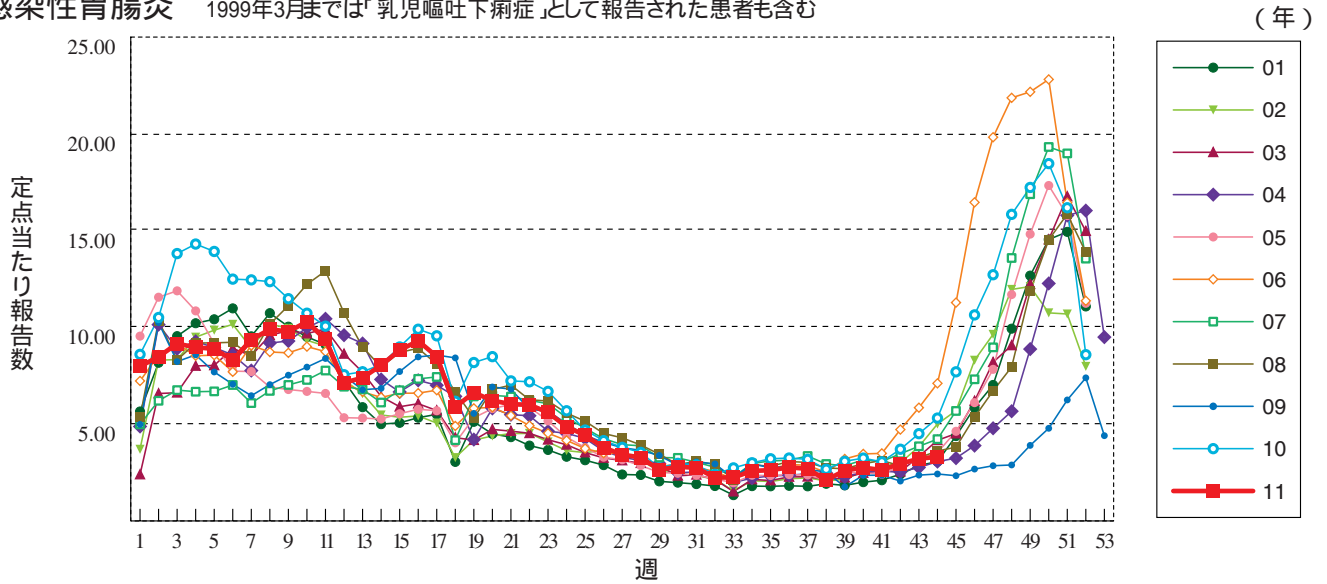
咽頭結膜熱



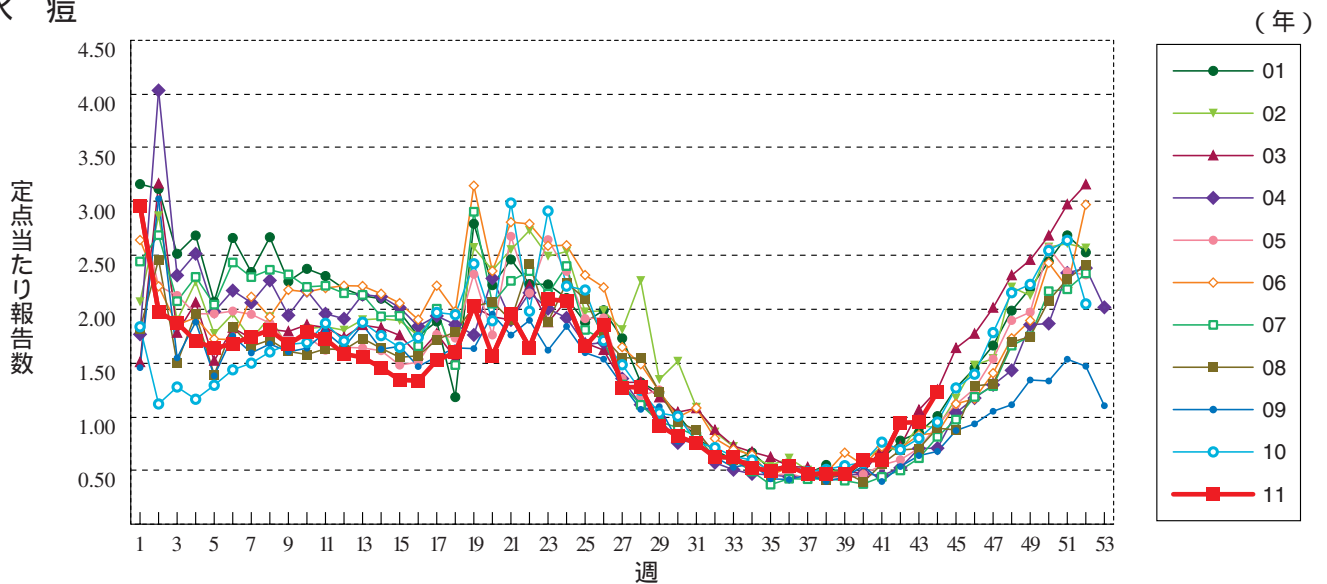
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



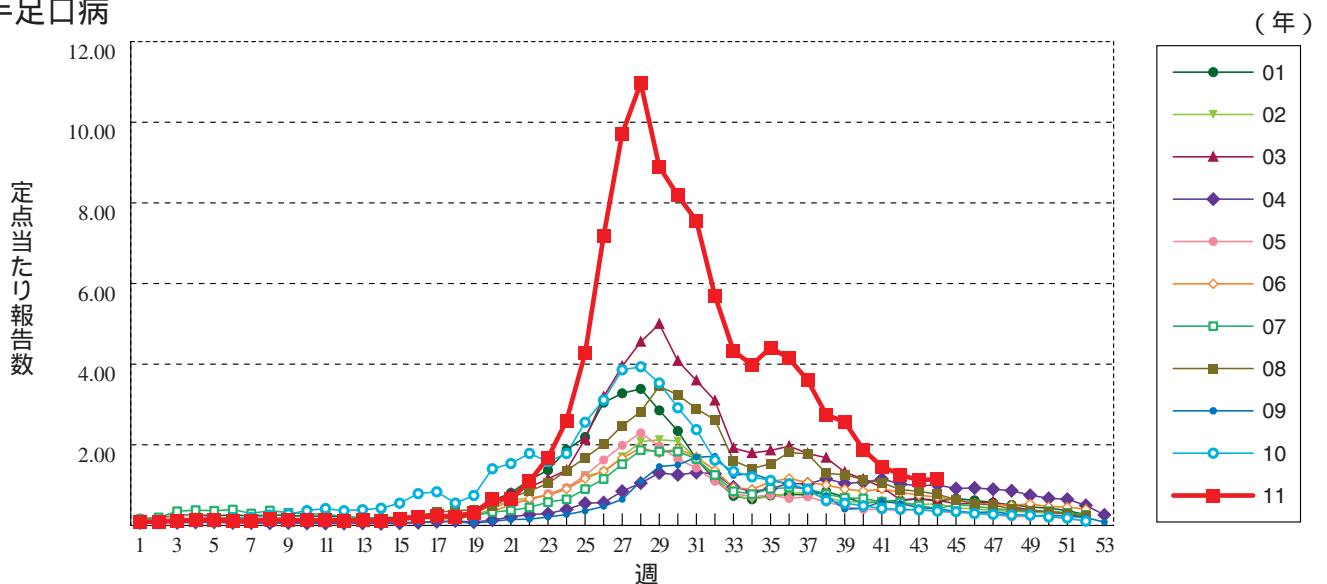
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



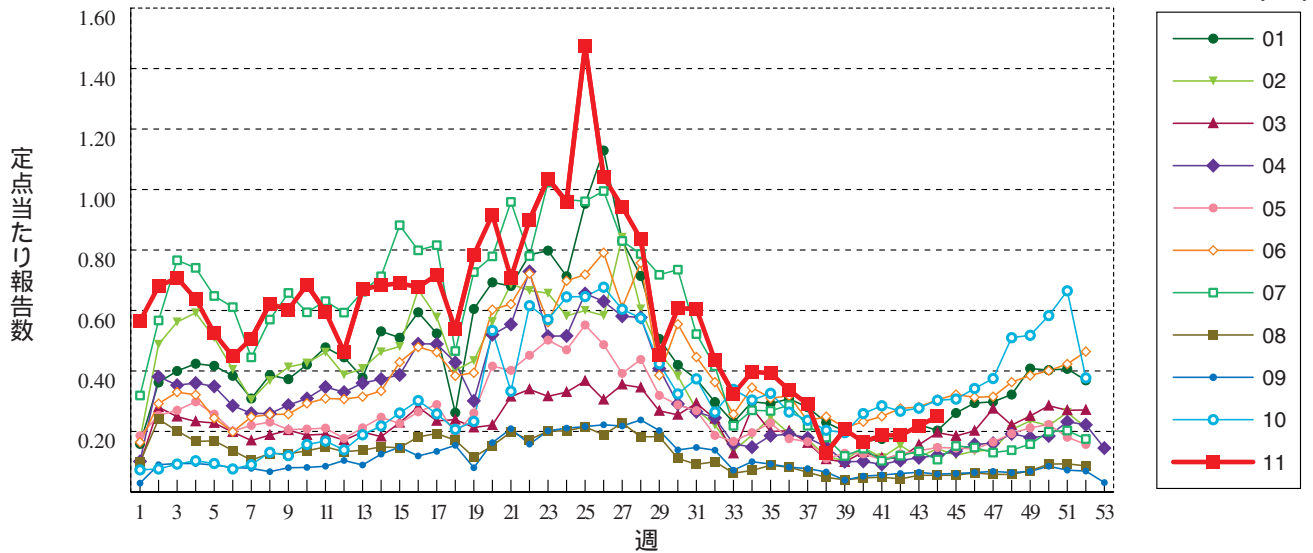
水痘



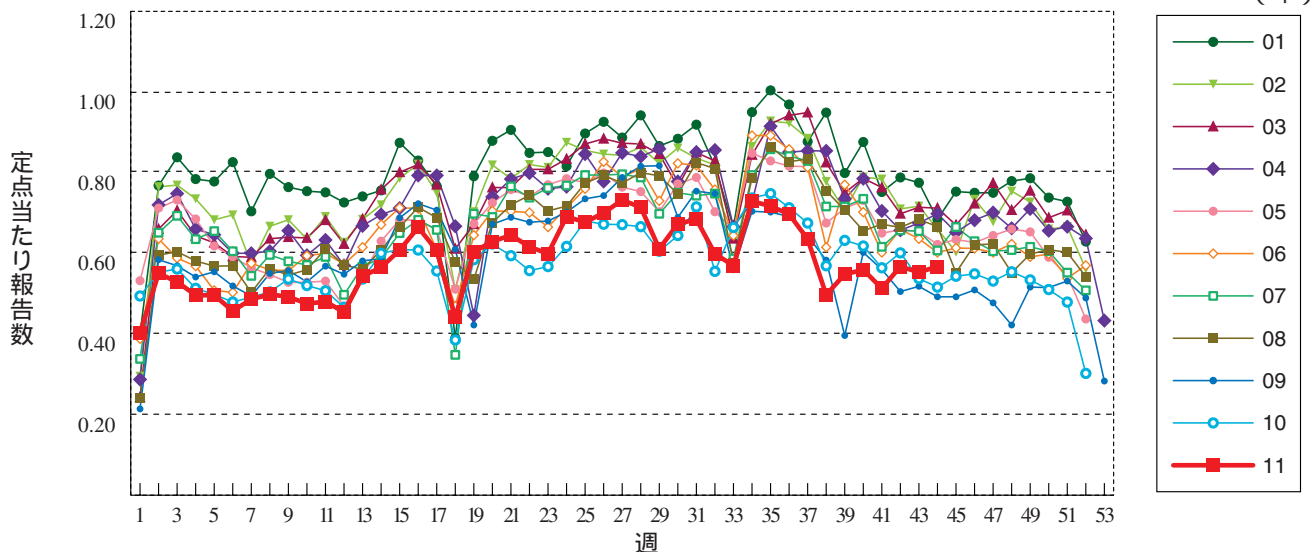
手足口病



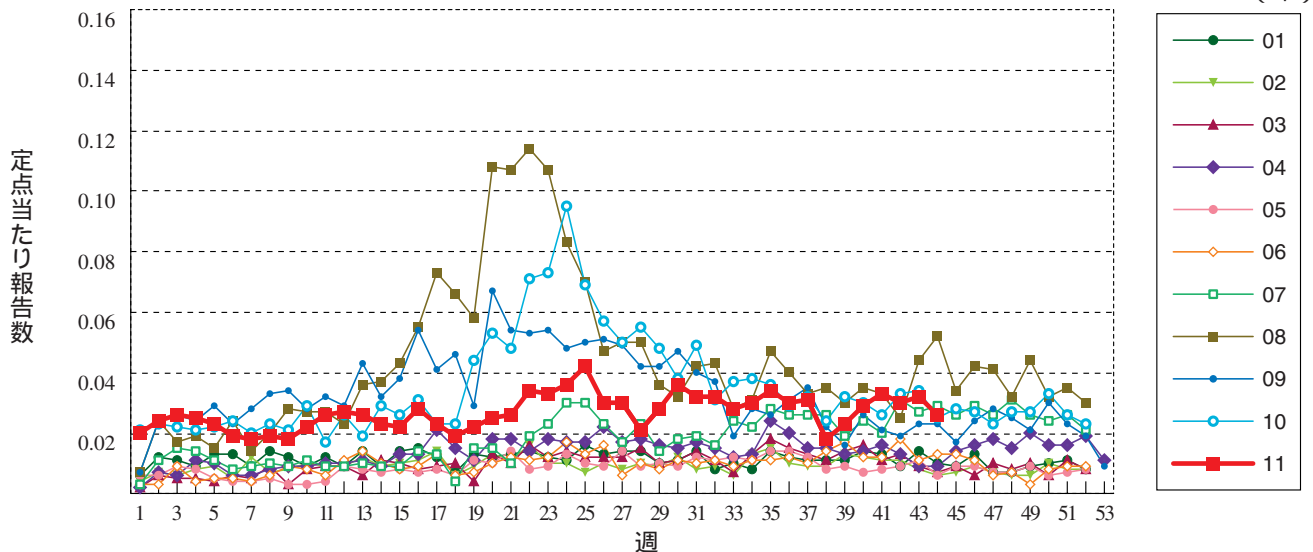
伝染性紅斑



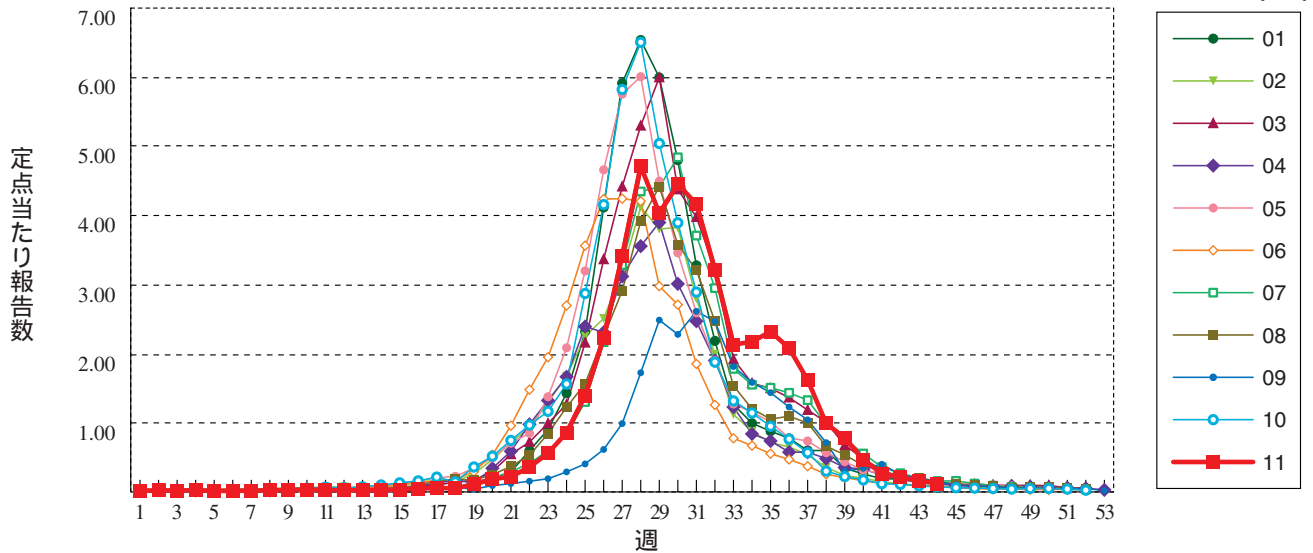
突発性発しん



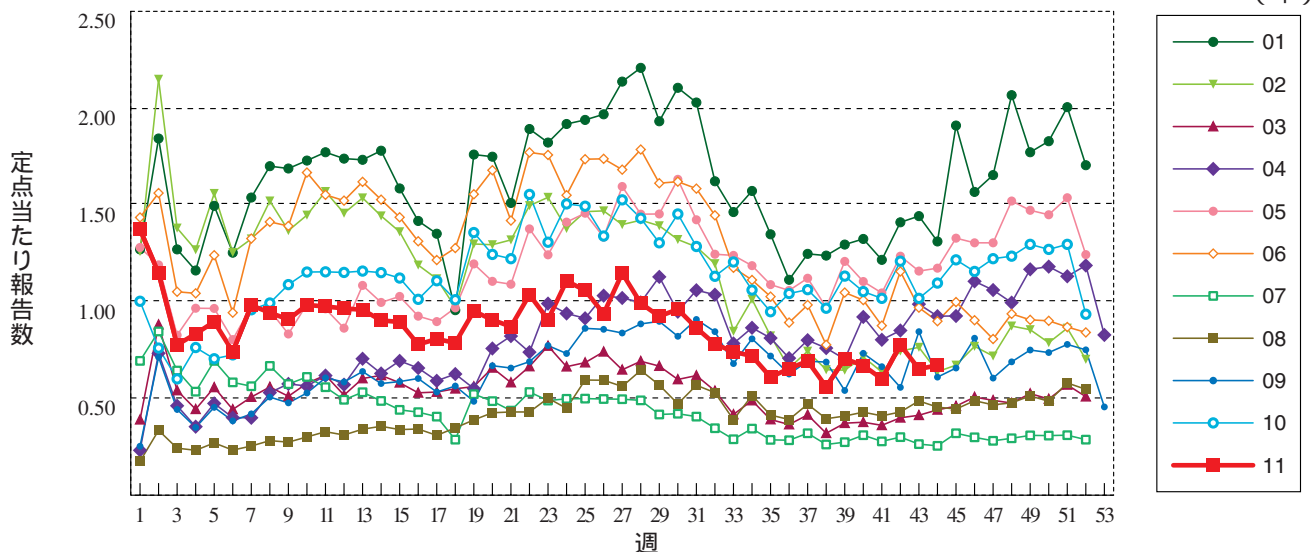
百日咳



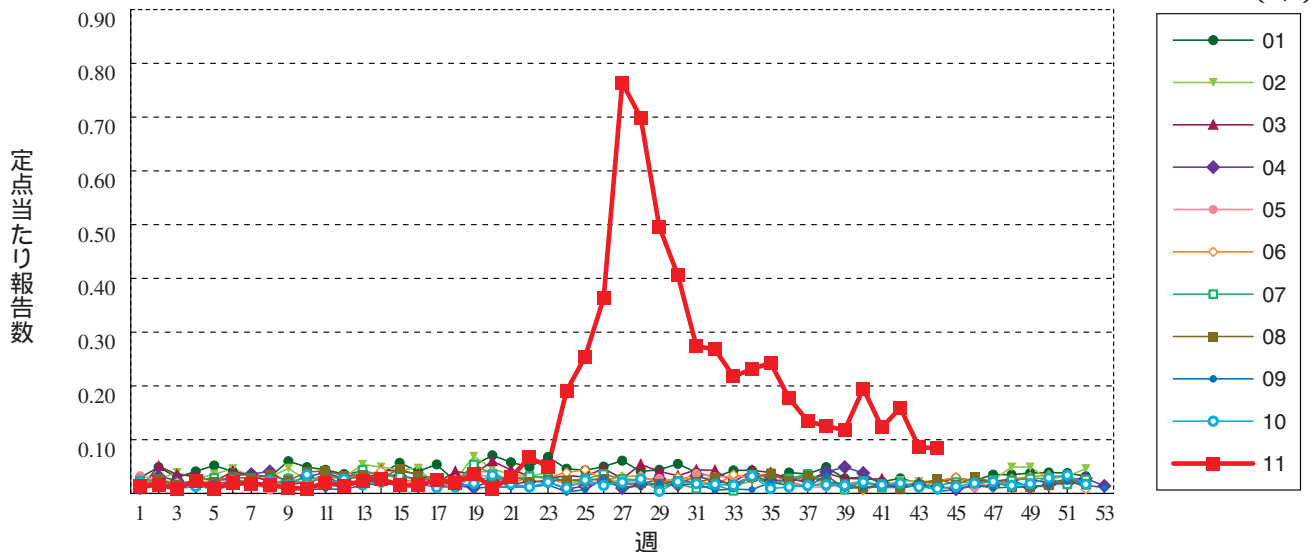
ヘルパンギーナ



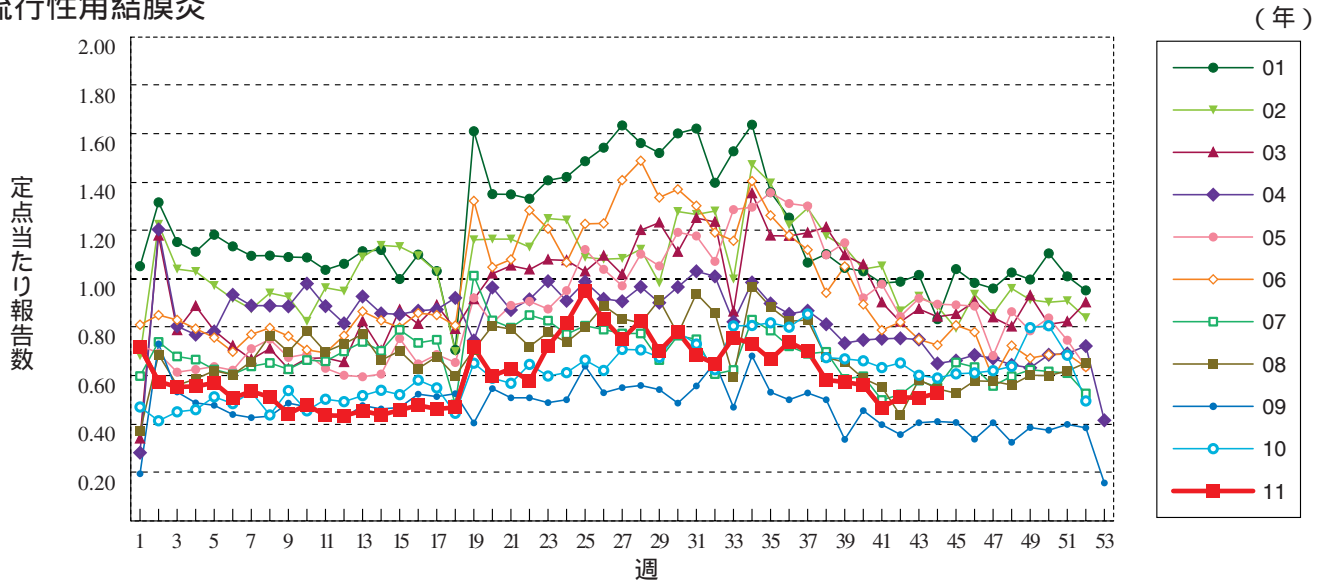
流行性耳下腺炎



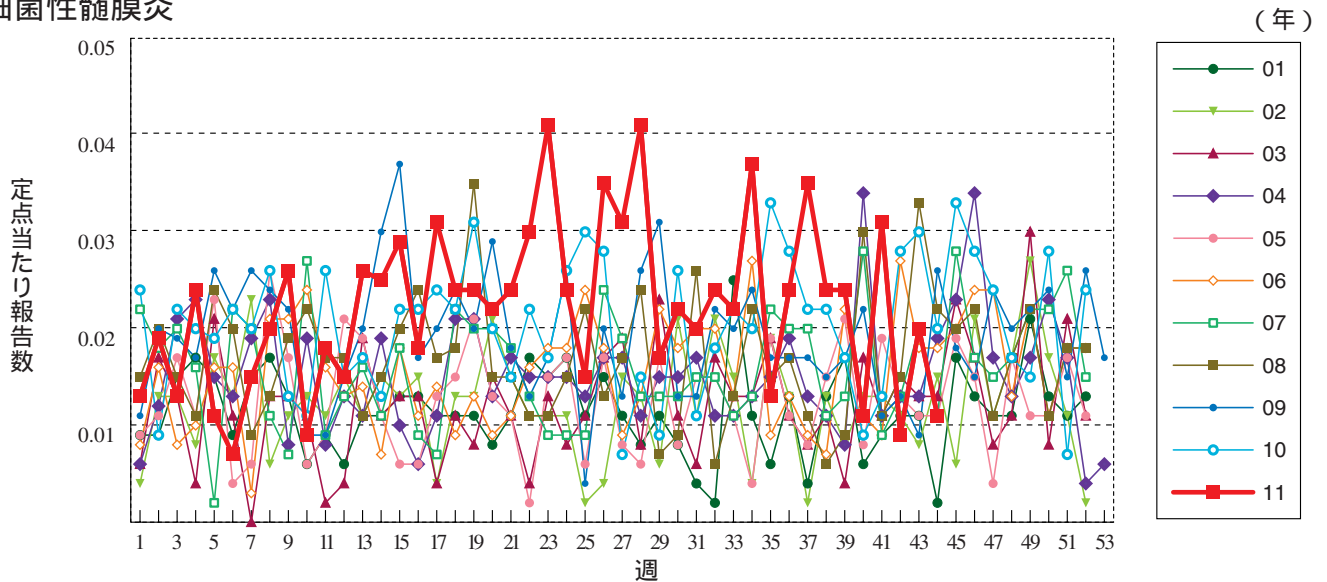
急性出血性結膜炎



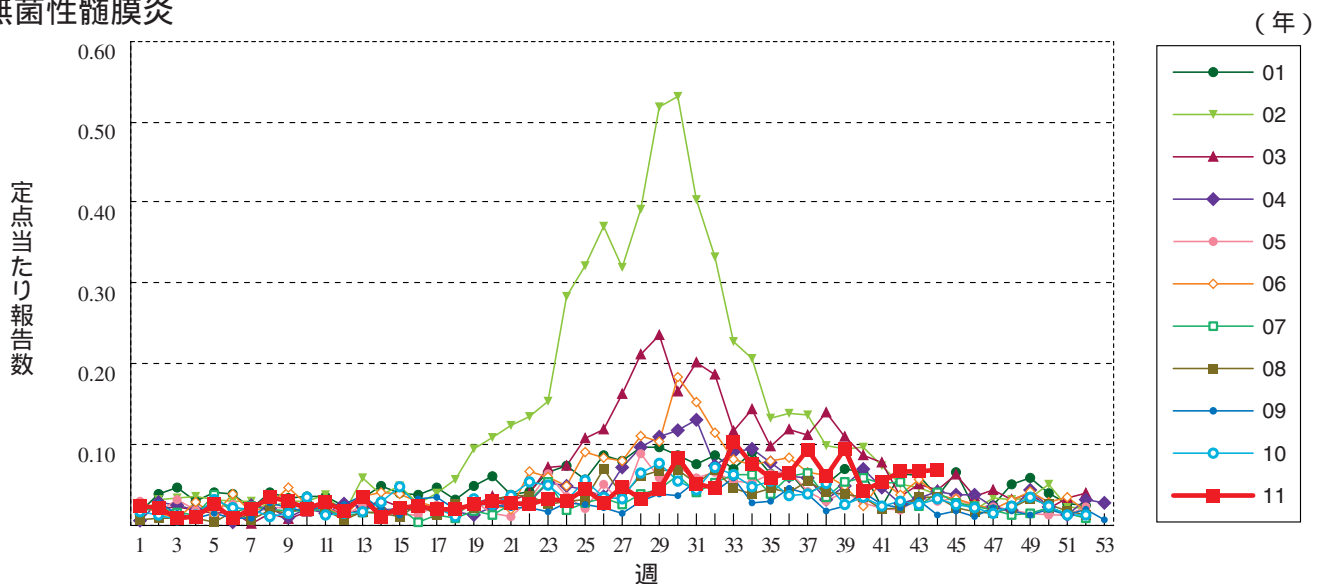
流行性角結膜炎



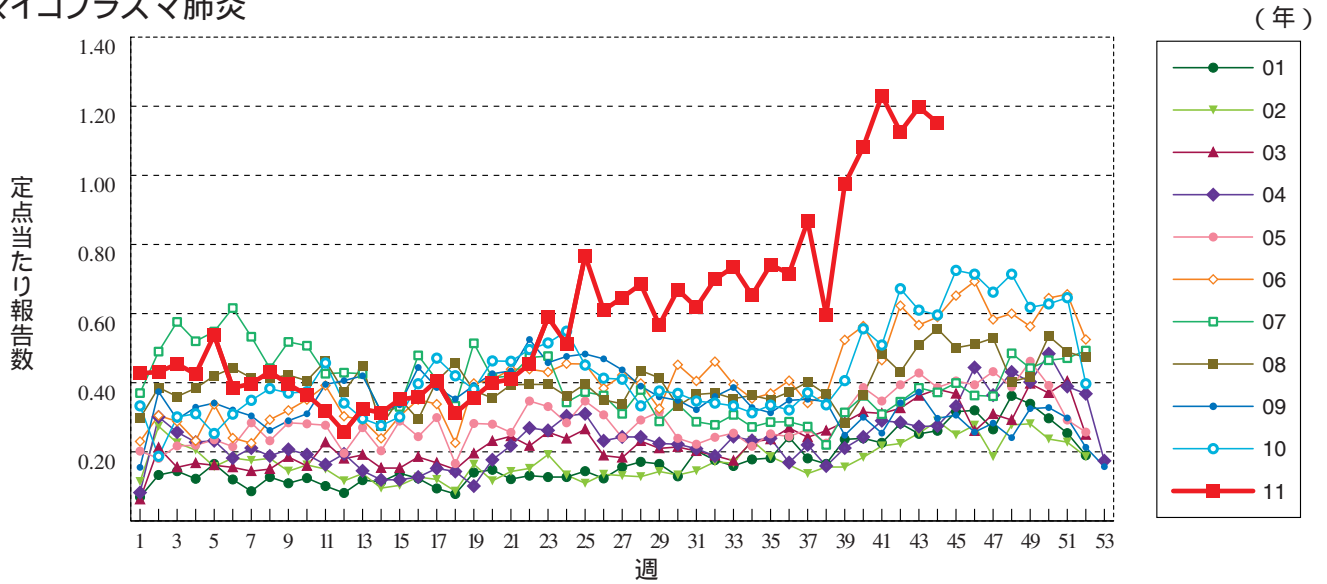
細菌性髄膜炎



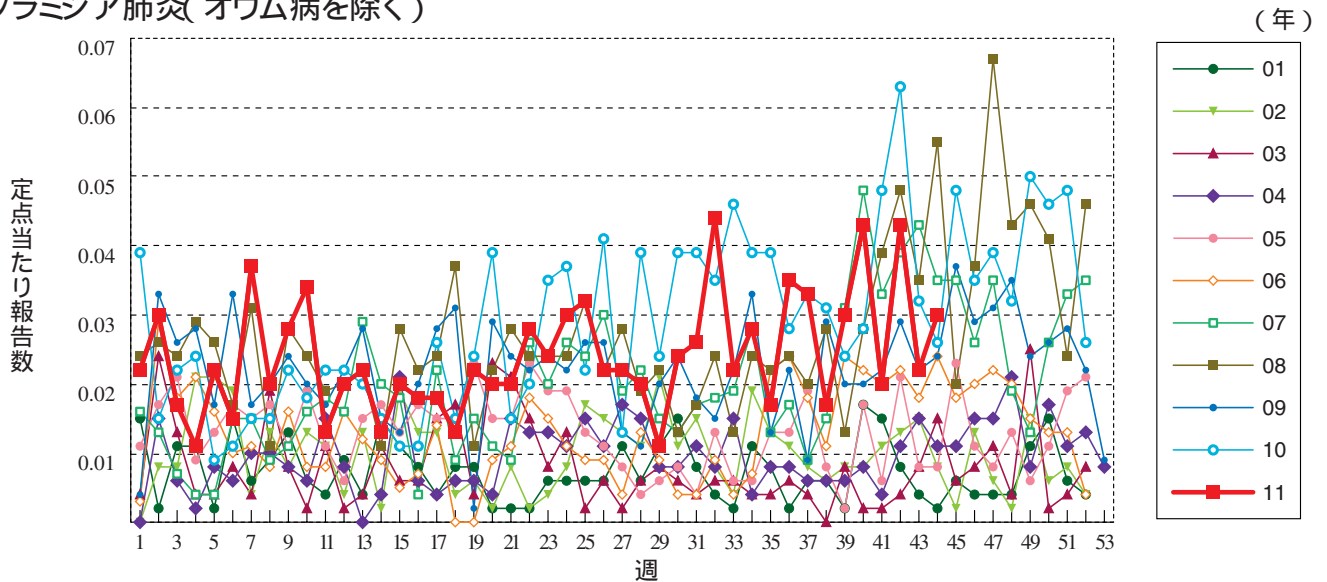
無菌性髄膜炎



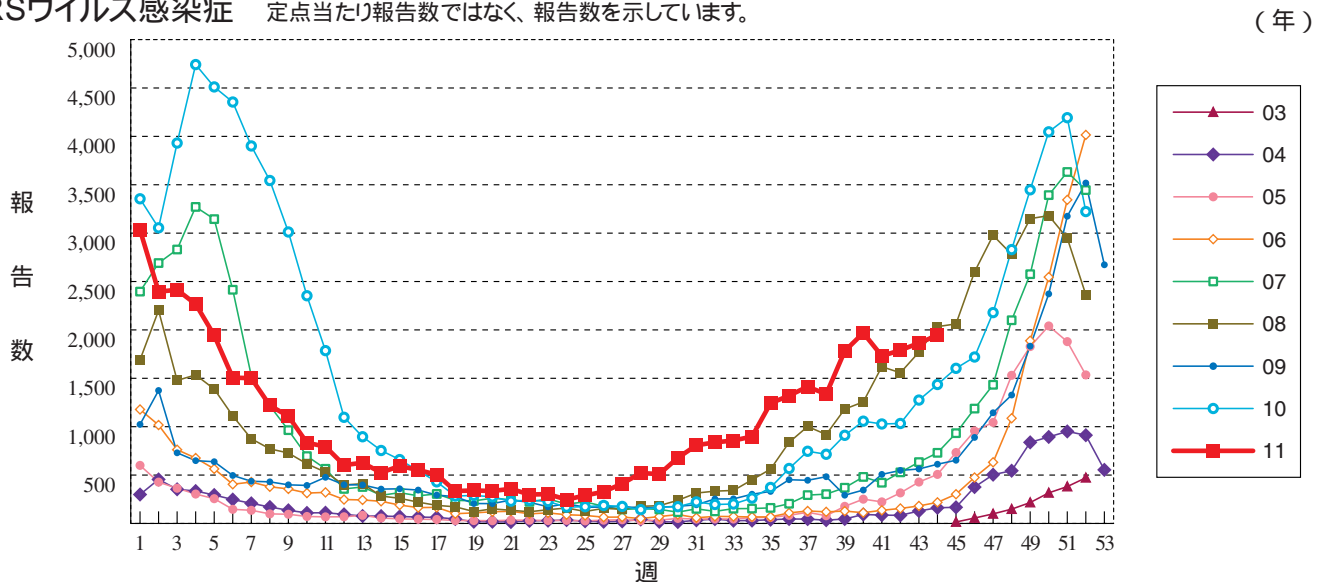
マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎(オウム病を除く)



RSウイルス感染症 定点当たり報告数ではなく、報告数を示しています。





4 4 週 の データ

注) 表中の報告数は11月9日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。
 新型インフルエンザは掲載していません。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2011年44週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		痘 瘡		南米出血熱		ペ ス ト		マールブルグ病		ラッサ熱		急性灰白髄炎		結 核	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	350	25791
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	856
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	360
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	175
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	301
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	203
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	259
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	261
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	605
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	297
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	183
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	1281
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23	1260
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	51	4164	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	29	1816
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	323
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	202
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	231
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	151
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	122
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	337
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	24	506
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	592
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19	1711
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	302
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	270
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	591
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18	1168
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22	947
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	297
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	405
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	117
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	196
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	431
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25	695
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	273
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	210
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	151
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	251
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	168
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	1037
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	325
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	330
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	314
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	257
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	230
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	329
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	301

*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2011年44週

	ジフテリア		重症急性 呼吸器症候群*		鳥インフル エンザ (H5N1)		コレラ		細菌性赤痢		腸管出血性 大腸菌感染症		腸チフス		パラチフス		E型肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	10	3	264	49	3555	1	21	-	20	-	50	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	118	-	-	-	-	-	11	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	23	-	-	-	-	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	124	-	-	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	8	2	113	-	-	-	-	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	25	-	-	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	306	-	-	-	-	-	1	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	23	-	48	-	-	-	-	-	1	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	46	-	1	-	-	-	-	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	64	-	2	-	-	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	43	-	-	-	-	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	106	-	1	-	-	-	1	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	1	14	21	179	-	-	-	2	-	3	
東京都	-	-	-	-	-	-	3	-	71	3	241	-	5	-	9	-	9	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	3	-	25	2	111	-	-	-	2	-	2	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	56	-	-	-	-	-	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	188	-	-	-	1	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	69	-	1	-	-	-	1	
福井県	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	26	-	-	-	-	-	1	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	7	1	73	-	-	-	-	-	-	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	84	-	-	-	-	-	1	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	66	-	-	-	-	-	2	
愛知県	-	-	-	-	-	-	1	1	14	1	116	-	1	-	2	-	2	
三重県	-	-	-	-	-	-	1	1	2	1	35	-	-	-	2	-	3	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	68	-	-	-	-	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	72	-	-	-	-	-	-	
大阪府	-	-	-	-	-	-	1	-	13	2	179	-	2	-	1	-	-	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	5	1	111	1	1	-	-	-	2	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23	-	-	-	-	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	7	-	-	-	-	-	1	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	75	-	-	-	-	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	63	-	-	-	-	-	1	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	68	-	1	-	-	-	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	24	-	-	-	-	-	1	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-	-	1	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	11	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	16	-	-	-	-	-	1	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	17	-	144	-	2	-	-	-	3	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	28	-	-	-	-	-	1	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	74	-	2	-	-	-	1	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	55	-	-	-	-	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	44	-	1	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	59	-	-	-	-	-	-	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	93	-	-	-	-	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	41	-	1	-	1	-	-	

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2011年44週

	ウエストナイル熱		A型肝炎		エキノコックス症		黄熱		オウム病		オムスク出血熱		回帰熱		キャサナル森林病		Q熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	1	163	-	13	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	1	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	5	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	24	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	9	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	5	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	1	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2011年44週

	狂犬病		コクシジ オイデス症		サル痘		腎症候性出血熱		西部ウマ脳炎		ダニ媒介脳炎		炭疽		チクングニア熱		つつが虫病	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7	13	205
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	27
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	22
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	8
東京都	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	6	11
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	5
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

*鳥インフルエンザ H5N1 を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2011年44週

	デング熱		東部ウマ脳炎		鳥インフルエンザ*		ニパウイルス感染症		日本紅斑熱		日本脳炎		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		鼻 疽	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	90	-	-	-	-	-	-	12	144	-	8	-	-	-	-	-	-
北海道	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	4	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	19	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	9	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	1	-	-	-	-	-	-	25	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	4	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	17	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	8	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	1	-	-	-	-	-	-	2	20	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	1	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	8	15	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	3	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2011年44週

	ブルセラ症		ベネズエラ ウマ脳炎		ヘンドラウイルス 感染症		発しんチフス		ポツリヌス症		マラリア		野 兎 病		ライム病		リッサウイルス 感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	70	-	-	-	7	-	-	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23	-	-	-	3	-	-	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	6	-	-	-	-	-	-	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	6	-	-	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	

*E型肝炎およびA型肝炎を除く。

**ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎およびリフトバレー熱を除く。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2011年44週

	リフトバレー熱		類鼻疽		レジオネラ症		レプトスピラ症		ロッキー山 紅斑熱		アメーバ赤痢		ウイルス性肝炎*		急性脳炎**		クリプト スポリジウム症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	2	13	675	1	27	-	-	11	693	3	208	2	220	-	7
北海道	-	-	-	-	-	14	-	-	-	-	1	13	-	3	-	6	-	1
青森県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	-	8	-	-	-	2	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	9	-	5	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
福島県	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	11	-	1	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	1	17	-	-	-	-	-	12	-	2	-	6	-	-
栃木県	-	-	-	-	1	11	-	-	-	-	2	7	-	1	-	9	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	9	-	3	-	2	-	-
埼玉県	-	-	-	-	1	32	-	-	-	-	-	32	-	8	1	14	-	-
千葉県	-	-	-	-	1	28	-	-	-	-	-	45	1	8	1	19	-	-
東京都	-	-	-	-	-	60	-	5	-	-	1	146	1	33	-	17	-	2
神奈川県	-	-	-	1	1	54	-	-	-	-	2	68	-	10	-	11	-	-
新潟県	-	-	-	1	-	26	-	-	-	-	-	8	-	3	-	12	-	-
富山県	-	-	-	-	-	24	-	-	-	-	-	5	-	4	-	1	-	-
石川県	-	-	-	-	-	15	-	-	-	-	1	6	-	-	-	2	-	-
福井県	-	-	-	-	1	13	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	-	2	-	1	-	1	-	-
長野県	-	-	-	-	-	15	-	-	-	-	-	10	-	3	-	6	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	18	-	-	-	-	-	8	-	2	-	2	-	-
静岡県	-	-	-	-	1	14	-	-	-	-	-	18	-	-	-	14	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	33	-	-	-	-	1	35	-	8	-	11	-	-
三重県	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-	-	9	-	7	-	5	-	3
滋賀県	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	2	-	1	-	1	-	-
京都府	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-	1	19	-	8	-	11	-	-
大阪府	-	-	-	-	2	57	-	1	-	-	-	77	-	18	-	17	-	1
兵庫県	-	-	-	-	-	39	-	-	-	-	1	27	-	13	-	9	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-
島根県	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	17	-	-	-	-	-	10	-	8	-	3	-	-
広島県	-	-	-	-	1	12	-	-	-	-	-	9	-	13	-	7	-	-
山口県	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	2	7	-	-	-	-	-	4	-	3	-	2	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	1	7	-	6	-	1	-	-
高知県	-	-	-	-	-	6	-	4	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	19	-	-	-	-	-	21	-	12	-	5	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	2	-	1	-	5	-	-
長崎県	-	-	-	-	1	9	-	1	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	1	1	6	-	-	-	9	1	5	-	5	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	7	-	1	-	-	-	2	-	1	-	4	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	7	-	5	-	-	-	2	-	6	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2011年44週

	クローンツェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		ジアルジア症		髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風しん症候群		梅毒		破傷風		バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	1	113	1	172	9	1212	1	53	-	8	-	1	10	666	-	97	-	-
北海道	-	7	1	8	-	21	-	1	-	-	-	-	1	20	-	5	-	-
青森県	-	1	-	2	-	4	-	-	-	-	-	-	-	6	-	4	-	-
岩手県	-	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
宮城県	-	2	-	-	-	15	-	1	-	-	-	-	-	8	-	6	-	-
秋田県	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-
山形県	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-
福島県	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
茨城県	-	4	-	3	-	18	-	2	-	-	-	-	-	22	-	6	-	-
栃木県	-	1	-	-	-	20	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-
群馬県	-	1	-	-	-	13	-	-	-	-	-	1	-	3	-	1	-	-
埼玉県	-	7	-	5	-	33	-	4	-	-	-	-	1	17	-	2	-	-
千葉県	-	6	-	6	-	43	-	1	-	1	-	-	-	18	-	1	-	-
東京都	-	13	-	27	5	332	1	10	-	2	-	-	2	195	-	7	-	-
神奈川県	-	3	-	8	-	70	-	6	-	-	-	-	-	35	-	1	-	-
新潟県	-	4	-	7	-	10	-	-	-	-	-	-	-	6	-	2	-	-
富山県	-	1	-	4	-	4	-	-	-	-	-	-	-	5	-	2	-	-
石川県	-	1	-	3	-	10	-	-	-	-	-	-	-	4	-	2	-	-
福井県	-	-	-	3	-	5	-	2	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
山梨県	-	3	-	2	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	6	-	17	-	1	-	-	-	-	-	7	-	3	-	-
岐阜県	-	1	-	3	-	26	-	2	-	-	-	-	-	13	-	3	-	-
静岡県	-	2	-	5	1	24	-	3	-	-	-	-	2	16	-	-	-	-
愛知県	-	3	-	12	-	73	-	3	-	-	-	-	-	39	-	5	-	-
三重県	-	2	-	2	-	11	-	1	-	1	-	-	-	4	-	1	-	-
滋賀県	1	2	-	2	-	4	-	1	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-
京都府	-	4	-	3	-	11	-	2	-	-	-	-	1	9	-	-	-	-
大阪府	-	9	-	11	-	201	-	2	-	-	-	-	1	59	-	1	-	-
兵庫県	-	2	-	5	-	40	-	4	-	-	-	-	1	29	-	1	-	-
奈良県	-	1	-	-	1	9	-	1	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
和歌山県	-	2	-	3	-	8	-	1	-	-	-	-	-	4	-	2	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-
島根県	-	2	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-
岡山県	-	2	-	1	-	12	-	2	-	-	-	-	-	9	-	2	-	-
広島県	-	2	-	4	-	23	-	-	-	-	-	-	1	6	-	4	-	-
山口県	-	1	-	3	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
徳島県	-	1	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
香川県	-	2	-	2	-	8	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
愛媛県	-	3	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	1	-	3	-	1	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-
福岡県	-	7	-	19	-	45	-	-	-	1	-	-	-	39	-	2	-	-
佐賀県	-	2	-	1	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	1	-	1	-	7	-	1	-	-	-	-	-	7	-	4	-	-
熊本県	-	-	-	-	1	6	-	-	-	-	-	-	-	9	-	1	-	-
大分県	-	2	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-	-	7	-	1	-	-
宮崎県	-	-	-	1	1	12	-	-	-	2	-	-	-	8	-	8	-	-
鹿児島県	-	3	-	-	-	11	-	-	-	1	-	-	-	18	-	4	-	-
沖縄県	-	1	-	3	-	14	-	1	-	-	-	-	-	9	-	1	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別 2011年44週

	バンコマイシン耐性 腸球菌感染症		風しん		麻しん	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	54	4	337	-	417
北海道	-	1	-	18	-	8
青森県	-	1	-	-	-	2
岩手県	-	-	-	1	-	2
宮城県	-	1	-	1	-	1
秋田県	-	1	-	1	-	1
山形県	-	1	-	3	-	-
福島県	-	-	-	1	-	-
茨城県	-	-	1	10	-	-
栃木県	-	1	-	1	-	9
群馬県	-	1	-	-	-	5
埼玉県	-	1	-	7	-	29
千葉県	-	5	-	7	-	25
東京都	-	2	-	27	-	171
神奈川県	-	11	-	62	-	37
新潟県	-	-	-	5	-	3
富山県	-	-	-	2	-	-
石川県	-	-	-	1	-	-
福井県	-	-	-	2	-	1
山梨県	-	-	-	-	-	2
長野県	-	1	-	1	-	1
岐阜県	-	2	-	2	-	2
静岡県	-	-	-	4	-	8
愛知県	-	-	1	12	-	30
三重県	-	1	-	6	-	1
滋賀県	-	-	-	2	-	1
京都府	-	1	-	1	-	3
大阪府	-	9	1	49	-	12
兵庫県	-	2	-	7	-	14
奈良県	-	-	-	1	-	2
和歌山県	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	1	-	-
島根県	-	-	-	1	-	-
岡山県	-	-	-	1	-	4
広島県	-	1	-	13	-	24
山口県	-	-	-	1	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	1
香川県	-	-	-	2	-	1
愛媛県	-	1	-	1	-	3
高知県	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	3	1	71	-	6
佐賀県	-	-	-	2	-	-
長崎県	-	-	-	3	-	3
熊本県	-	4	-	2	-	-
大分県	-	-	-	2	-	1
宮崎県	-	-	-	1	-	1
鹿児島県	-	1	-	2	-	3
沖縄県	-	2	-	-	-	-

*鳥インフルエンザを除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2011年44週

	インフルエンザ*		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	580	0.12	590	0.19	4136	1.32	10405	3.32	3860	1.23	3609	1.15	782	0.25	1777	0.57	82	0.03
北海道	3	0.01	106	0.74	376	2.63	188	1.31	238	1.66	181	1.27	21	0.15	46	0.32	5	0.03
青森県	-	-	4	0.10	24	0.57	48	1.14	99	2.36	27	0.64	2	0.05	12	0.29	-	-
岩手県	1	0.02	-	-	57	1.43	193	4.83	75	1.88	21	0.53	6	0.15	14	0.35	1	0.03
宮城県	46	0.49	4	0.07	79	1.34	283	4.80	94	1.59	174	2.95	11	0.19	28	0.47	-	-
秋田県	-	-	10	0.30	28	0.85	102	3.09	78	2.36	18	0.55	3	0.09	14	0.42	-	-
山形県	-	-	5	0.17	55	1.83	102	3.40	53	1.77	47	1.57	3	0.10	24	0.80	-	-
福島県	5	0.06	6	0.13	76	1.58	129	2.69	106	2.21	132	2.75	32	0.67	25	0.52	-	-
茨城県	4	0.03	8	0.11	66	0.88	131	1.75	53	0.71	60	0.80	6	0.08	29	0.39	2	0.03
栃木県	-	-	2	0.04	37	0.77	56	1.17	59	1.23	66	1.38	12	0.25	29	0.60	10	0.21
群馬県	24	0.24	7	0.11	60	0.98	221	3.62	78	1.28	48	0.79	6	0.10	31	0.51	1	0.02
埼玉県	6	0.02	31	0.20	237	1.50	669	4.23	240	1.52	133	0.84	16	0.10	114	0.72	4	0.03
千葉県	12	0.06	13	0.10	191	1.47	383	2.95	146	1.12	176	1.35	14	0.11	83	0.64	7	0.05
東京都	12	0.03	42	0.16	388	1.48	1037	3.94	310	1.18	248	0.94	62	0.24	151	0.57	7	0.03
神奈川県	22	0.07	30	0.15	182	0.93	554	2.83	163	0.83	229	1.17	70	0.36	124	0.63	4	0.02
新潟県	3	0.03	51	0.85	65	1.08	96	1.60	104	1.73	40	0.67	9	0.15	37	0.62	4	0.07
富山県	-	-	8	0.28	59	2.03	93	3.21	27	0.93	45	1.55	-	-	15	0.52	-	-
石川県	1	0.02	3	0.10	64	2.21	74	2.55	43	1.48	61	2.10	6	0.21	15	0.52	-	-
福井県	8	0.25	4	0.18	48	2.18	90	4.09	63	2.86	8	0.36	3	0.14	15	0.68	-	-
山梨県	1	0.03	7	0.29	19	0.79	75	3.13	21	0.88	17	0.71	2	0.08	16	0.67	-	-
長野県	1	0.01	2	0.04	89	1.62	157	2.85	92	1.67	56	1.02	40	0.73	31	0.56	1	0.02
岐阜県	28	0.32	6	0.11	20	0.38	112	2.11	40	0.75	40	0.75	19	0.36	26	0.49	1	0.02
静岡県	5	0.04	8	0.10	96	1.16	278	3.35	68	0.82	90	1.08	7	0.08	63	0.76	2	0.02
愛知県	115	0.59	10	0.06	198	1.09	457	2.52	150	0.83	295	1.63	73	0.40	107	0.59	2	0.01
三重県	16	0.22	5	0.11	41	0.91	127	2.82	66	1.47	64	1.42	3	0.07	21	0.47	-	-
滋賀県	6	0.11	4	0.13	25	0.78	93	2.91	35	1.09	71	2.22	1	0.03	18	0.56	-	-
京都府	3	0.03	10	0.14	42	0.59	151	2.13	70	0.99	65	0.92	11	0.15	27	0.38	1	0.01
大阪府	29	0.10	22	0.11	299	1.53	614	3.13	206	1.05	171	0.87	62	0.32	90	0.46	5	0.03
兵庫県	26	0.13	18	0.14	145	1.12	379	2.94	138	1.07	137	1.06	29	0.22	65	0.50	1	0.01
奈良県	-	-	11	0.31	34	0.97	56	1.60	43	1.23	38	1.09	9	0.26	13	0.37	-	-
和歌山県	1	0.02	1	0.03	26	0.84	34	1.10	13	0.42	33	1.06	12	0.39	18	0.58	-	-
鳥取県	27	0.93	1	0.05	29	1.53	39	2.05	6	0.32	70	3.68	3	0.16	6	0.32	1	0.05
島根県	1	0.03	7	0.30	22	0.96	118	5.13	37	1.61	54	2.35	9	0.39	16	0.70	-	-
岡山県	7	0.08	7	0.13	35	0.65	244	4.52	41	0.76	93	1.72	8	0.15	33	0.61	-	-
広島県	7	0.06	21	0.29	108	1.50	235	3.26	137	1.90	91	1.26	30	0.42	34	0.47	3	0.04
山口県	27	0.39	7	0.15	59	1.23	456	9.50	43	0.90	38	0.79	15	0.31	47	0.98	-	-
徳島県	-	-	8	0.35	19	0.83	74	3.22	24	1.04	42	1.83	19	0.83	20	0.87	-	-
香川県	3	0.06	2	0.07	18	0.60	187	6.23	12	0.40	44	1.47	15	0.50	15	0.50	-	-
愛媛県	3	0.05	3	0.08	34	0.92	238	6.43	45	1.22	87	2.35	35	0.95	25	0.68	2	0.05
高知県	-	-	1	0.03	27	0.90	73	2.43	38	1.27	29	0.97	29	0.97	12	0.40	5	0.17
福岡県	22	0.11	47	0.39	239	1.99	544	4.53	148	1.23	7	0.06	12	0.10	87	0.73	4	0.03
佐賀県	1	0.03	8	0.35	32	1.39	66	2.87	54	2.35	2	0.09	2	0.09	20	0.87	-	-
長崎県	-	-	3	0.07	72	1.64	251	5.70	39	0.89	26	0.59	5	0.11	35	0.80	1	0.02
熊本県	-	-	4	0.08	72	1.50	174	3.63	57	1.19	18	0.38	3	0.06	27	0.56	2	0.04
大分県	3	0.05	4	0.11	99	2.75	219	6.08	58	1.61	5	0.14	15	0.42	30	0.83	-	-
宮崎県	2	0.03	8	0.22	59	1.64	246	6.83	58	1.61	31	0.86	15	0.42	34	0.94	-	-
鹿児島県	4	0.04	19	0.35	75	1.39	187	3.46	62	1.15	167	3.09	12	0.22	28	0.52	-	-
沖縄県	95	1.64	2	0.06	11	0.32	72	2.12	30	0.88	14	0.41	5	0.15	7	0.21	6	0.18

*髄膜炎菌性髄膜炎は除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2011年44週

	ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎*		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		RSウイルス感染症
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数
総数	376	0.12	2102	0.67	57	0.08	357	0.53	5	0.01	32	0.07	531	1.15	14	0.03	1945
北海道	13	0.09	45	0.31	1	0.03	17	0.59	-	-	-	-	46	2.00	-	-	109
青森県	1	0.02	46	1.10	-	-	8	0.89	-	-	2	0.33	12	2.00	-	-	32
岩手県	10	0.25	38	0.95	-	-	7	0.50	-	-	1	0.05	46	2.42	-	-	37
宮城県	3	0.05	78	1.32	-	-	3	0.25	-	-	-	-	21	1.75	2	0.17	35
秋田県	1	0.03	11	0.33	-	-	1	0.14	-	-	-	-	1	0.13	-	-	14
山形県	15	0.50	85	2.83	-	-	3	0.38	-	-	-	-	4	0.40	-	-	77
福島県	8	0.17	21	0.44	-	-	12	1.00	-	-	3	0.43	6	0.86	-	-	64
茨城県	10	0.13	92	1.23	-	-	7	0.41	-	-	-	-	6	0.46	-	-	26
栃木県	2	0.04	23	0.48	-	-	2	0.17	1	0.14	-	-	11	1.57	1	0.14	40
群馬県	4	0.07	72	1.18	-	-	18	1.20	-	-	-	-	15	1.88	-	-	27
埼玉県	14	0.09	65	0.41	1	0.02	11	0.27	-	-	2	0.22	26	2.89	1	0.11	82
千葉県	9	0.07	45	0.35	-	-	20	0.61	-	-	1	0.11	4	0.44	2	0.22	61
東京都	32	0.12	73	0.28	2	0.05	14	0.37	-	-	6	0.26	38	1.65	-	-	98
神奈川県	7	0.04	62	0.32	2	0.04	35	0.78	1	0.13	1	0.13	8	1.00	-	-	47
新潟県	5	0.08	120	2.00	-	-	5	0.56	-	-	1	0.08	12	0.92	6	0.46	59
富山県	8	0.28	25	0.86	-	-	1	0.14	-	-	-	-	11	2.20	-	-	17
石川県	2	0.07	7	0.24	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.20	-	-	38
福井県	4	0.18	1	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	3	0.50	-	-	69
山梨県	-	-	14	0.58	-	-	5	0.56	-	-	-	-	2	0.20	-	-	1
長野県	6	0.11	46	0.84	-	-	11	1.00	1	0.09	-	-	11	1.00	-	-	18
岐阜県	3	0.06	31	0.58	-	-	1	0.09	1	0.20	-	-	10	2.00	-	-	20
静岡県	5	0.06	77	0.93	-	-	13	0.68	-	-	-	-	5	0.56	-	-	43
愛知県	28	0.15	58	0.32	-	-	11	0.32	-	-	1	0.08	36	2.77	-	-	124
三重県	2	0.04	30	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-	3	0.33	-	-	23
滋賀県	4	0.13	21	0.66	-	-	-	-	-	-	1	0.14	4	0.57	-	-	33
京都府	2	0.03	31	0.44	-	-	11	0.61	-	-	-	-	13	1.86	-	-	34
大阪府	19	0.10	63	0.32	2	0.04	16	0.33	-	-	2	0.13	27	1.80	-	-	128
兵庫県	26	0.20	67	0.52	2	0.06	13	0.37	-	-	-	-	7	0.58	-	-	60
奈良県	1	0.03	3	0.09	-	-	1	0.11	-	-	-	-	2	0.33	-	-	23
和歌山県	8	0.26	3	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	9	0.82	-	-	9
鳥取県	-	-	24	1.26	-	-	11	3.67	-	-	2	0.40	1	0.20	-	-	7
島根県	-	-	13	0.57	-	-	-	-	-	-	-	-	3	0.38	1	0.13	18
岡山県	5	0.09	62	1.15	-	-	4	0.33	1	0.20	1	0.20	8	1.60	-	-	21
広島県	6	0.08	47	0.65	-	-	18	0.95	-	-	1	0.05	12	0.57	-	-	63
山口県	8	0.17	32	0.67	-	-	4	0.44	-	-	-	-	9	1.00	-	-	71
徳島県	24	1.04	32	1.39	-	-	-	-	-	-	1	0.20	-	-	-	-	19
香川県	4	0.13	29	0.97	-	-	4	1.33	-	-	-	-	1	0.20	-	-	25
愛媛県	16	0.43	66	1.78	-	-	9	1.13	-	-	-	-	5	0.83	-	-	19
高知県	8	0.27	19	0.63	-	-	1	0.33	-	-	-	-	3	0.43	-	-	13
福岡県	9	0.08	115	0.96	-	-	17	0.65	-	-	1	0.07	6	0.40	-	-	61
佐賀県	4	0.17	38	1.65	-	-	-	-	-	-	1	0.17	12	2.00	-	-	33
長崎県	6	0.14	23	0.52	1	0.13	6	0.75	-	-	1	0.09	15	1.36	-	-	24
熊本県	13	0.27	73	1.52	-	-	11	1.22	-	-	-	-	7	0.47	1	0.07	35
大分県	9	0.25	18	0.50	-	-	5	1.00	-	-	-	-	9	0.82	-	-	23
宮崎県	3	0.08	68	1.89	-	-	11	1.83	-	-	-	-	8	1.14	-	-	44
鹿児島県	8	0.15	68	1.26	-	-	2	0.29	-	-	1	0.08	13	1.08	-	-	15
沖縄県	1	0.03	22	0.65	46	4.60	8	0.80	-	-	2	0.29	19	2.71	-	-	6

獣医師が届出を行う感染症と対象動物

注) 報告数は感染実験等の学術的研究による発生を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2011年44週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群(SARS)						結核		鳥インフルエンザ(H5N1)		細菌性赤痢	
	サル		サル		プレーリードッグ	イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		サル		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	71	-	25	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-		
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-		
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-		
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-		
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-		
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-		
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-		
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-		
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-		
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-		
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-		
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-		
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-		
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-		
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-		
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20	-	-		
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-		
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別 2011年44週

	ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	鳥類		犬	
	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-

感染症週報 第13巻 第44号 2011年11月18日発行
 発行：国立感染症研究所
 厚生労働省健康局結核感染症課
 厚生労働省大臣官房統計情報部
 事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
 T E L : 03-5285-1111
 F A X : 03-5285-1129
 U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>
 < 国立感染症研究所 感染症情報センター >
<http://www.mhlw.go.jp/>
 < 厚生労働省 >
<http://www.forth.go.jp/>
 < 旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。